

学生による授業評価

授業評価アンケート報告書
－ 2017（平成 29）年度春学期調査－

2017（平成 29）年

横浜商科大学
I R 委員会
学生総合センター

目 次

I. 調査の概要	1
II. 質問項目別調査結果（学年学科別単純集計）	5
III. 付録：分析別クロス集計グラフ	25
1. 科目群別 設問 8：シラバス対応	
2. 学科別 設問 10：予習復習時間	
3. 学年別 設問 10：予習復習時間	
4. 科目群別 設問 10：予習復習時間	
5. 科目群別 設問 17：満足度	
6. 科目群別・学年別 成績と授業満足度	
7. ディプロマ・ポリシー達成度	
8. 2015 カリキュラム科目群別 ディプロマ・ポリシー達成度	
9. 学科別 ディプロマ・ポリシー達成度	

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本学における学生による授業評価アンケートは、その実施を通じて講義を受講している学生が講義に対してどのような点で満足し、どのような点で不満を持っているのかを知る材料を収集し、それを各教員にフィードバックすることで授業改善に役立てることを目的としている。

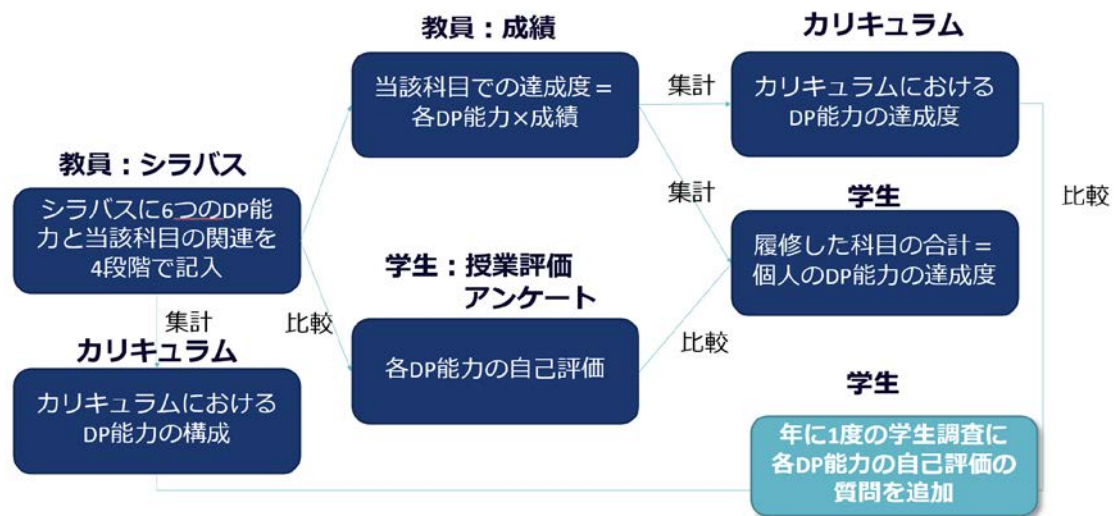
全学的な授業評価アンケート調査は 2002 年度から開始し、2008 年度までは毎年実施してきたが、それ以降は隔年実施となり、2010 年度に第 8 回、2012 年度に第 9 回の調査を実施してきた。

2014 年度から学生向けポータルである「商大 Web 情報システム」（製品名：UNIVERSAL PASSPORT: UNIPA）を導入したのにあわせ、同年度後期から従来は質問紙を用いて授業評価アンケートを実施していたものから、UNIPA のアンケート機能を利用した Web 調査に切り替えて実施することになった。その結果、授業評価を実施した教員は UNIPA の画面上で担当科目のアンケート結果を確認できるようになった。学生は UNIPA にログインして回答することからシステム上は回答者を把握することができるが、学生にはあらかじめ授業評価の結果を学生の不利益になることには使わないことを告知して回答してもらっている。

2015 年度からは春学期、秋学期の両学期末に調査を実施することとし、また秋学期からは同年度夏に設置された IR 室と学生総合センターとで協力して実施する体制に改められ現在に至る。同じく 2015 年度からは総合満足度の設問で 3.7 点以下、あるいは個別の設問で 3.5 以下の授業評価があった教員には、学生満足度の向上を目的として「講義改善計画書」を学生総合センターに提出していただき授業改善に役立てている。授業評価アンケートと直接に関連してはいないが、2014 年度からは学内向けの FD プログラムの実施も始まり¹、授業改善にむけて総合的な取り組みが全学的に実施されている。

現在、横浜商科大学ではディプロ・マポリシーに掲げた 6 つの能力・スキルの達成状況を点検・評価するためにシラバス、成績・授業評価アンケートを連動した質保証システムの構築に取り組んでいる。そこで 2017 年度からは授業評価アンケートを「横浜商科大学質保証システム」の一部に組み込むこととし、上述の FD プログラムの内容を反映した「シラバス作成の手引き」を学生総合センターで作成して全教員に配布した。すべての授業のシラバスにおいて教員はまず、当該授業と 6 つの DP 能力を関連させた目標値を 4 段階で評価して記入する。この情報が学生の履修時の参考情報の 1 つとなる。次に学期末の授業評価アンケートにおいて、学生は「この授業で、幅広い教養とモラル（倫理）や、各学科の基礎となる専門的知識・技能を修得できましたか」といった DP 能力の修得を問う 6 つの質問に回答することで、自己評価を行う。そして最後に教員の付けた成績と当初シラバスで規定した各 DP 能力の目標値を掛け合わせることで当該科目での達成度とする。この達成度と学生の自己評価を照らし合わせることで比較検証を可能としている。

¹ 2014 年度にはルーブリック、2015 年度にはシラバス・ライティング、2016 年度には 3 ポリシーの作成と一貫性構築手法、Google Classroom の利用法といった内容が実施された。



図表 1 横浜商科大学質保証システム概念図

2. 授業評価アンケートの方法

(1) 実施日時

春学期の第 13 週から定期期末試験終了後まで（2017 年 7 月 3 日～2017 年 8 月 1 日）

(2) 対象科目

休暇期間中の集中講義及び教職科目を含むすべての開講科目

(3) 調査項目

上記質保証システムの構築にあわせ IR 委員会にて調査項目を再検討した。その結果、旧設問項目で相関係数の高い設問項目はいくつか整理、削除し、授業難易度を問う設問と、6 つの DP スキルの達成度を問う設問を追加し、全部で 18 問とした。

- ① 属性情報 (Q1～Q2)
- ② 受講した授業について (Q3～Q9)
- ③ 予習・復習時間について (Q10)
- ④ DP スキルの修得について (Q11～Q16)
- ⑤ 総合満足度 (Q17)
- ⑥ 自由記述 (Q18)

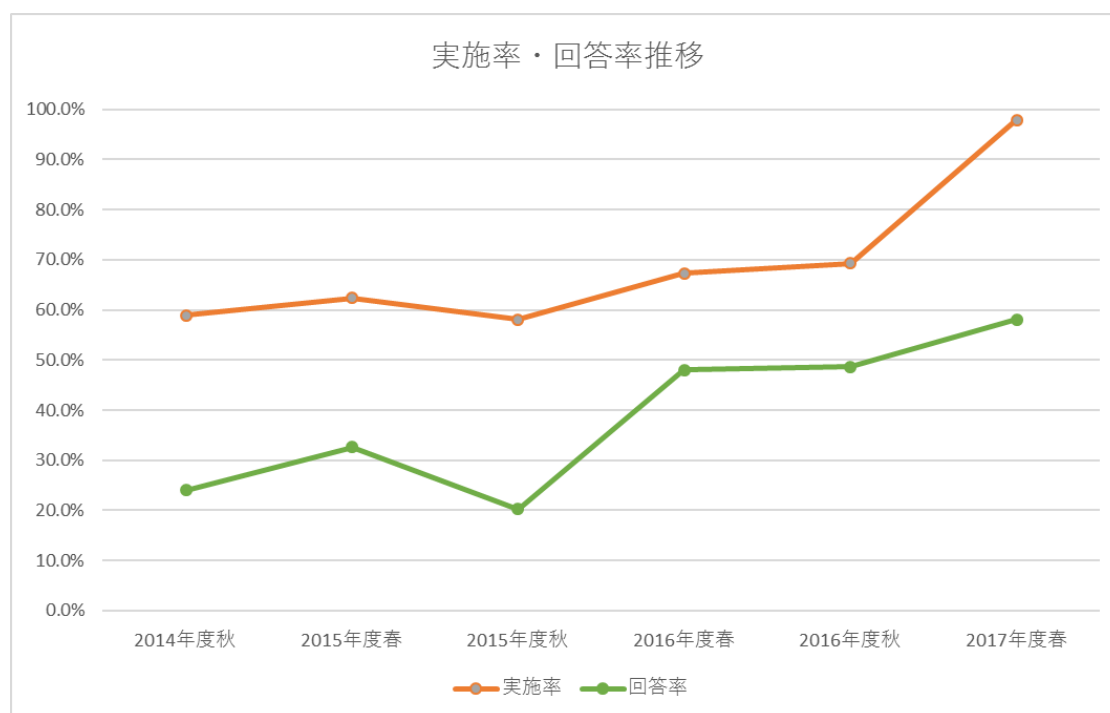
(4) 調査方法

商大 WEB 情報システム (UNIPA) のアンケート機能を使って、学生がスマートフォン、ノート PC から回答。回答は強制ではなく任意となっている。2016 年度からは回答率向上を目的に、教員に授業内で 10 分程度時間をとって教室内で回答するように学生に指示するよう学生総合センターから依頼した。2017 年度からは授業評価アンケートが質保証システムの一部であ

ることを教授会で事前に説明し、授業内での実施を強く呼びかけた。その結果、授業評価アンケートに1人でも回答のあった授業の割合（実施率）は2016年度の69.3%から97.9%に、総履修者数に占める延べ回答者数の割合（回答率）は前年度の48.6%から58.1%に大きく増加した。

3. 実施結果

	開講授業数	授業評価 実施授業数	実施率	総履修者数	延べ 回答者数	回答率
2014年度秋	343	202	58.9%	11,027	2,647	24.0%
2015年度春	353	220	62.3%	12,309	4,016	32.6%
2015年度秋	329	191	58.1%	10,640	2,157	20.3%
2016年度春	364	245	67.3%	12,985	6,240	48.1%
2016年度秋	345	239	69.3%	11,375	5,528	48.6%
2017年度春	382	374	97.9%	13,522	7,859	58.1%



図表2 授業評価アンケート実施授業率・回答学生率の推移

4. 調査結果

「Ⅲ. 質問項目別調査結果」を参照

授業評価アンケート調査画面

商大WEB情報システム

閉じる

123456789 科目A(教員B)

学生による授業評価アンケート(平成29年度 春学期)

本学の教育をさらに充実させるため、学生の視点からの「授業評価」アンケート調査を実施します。回答内容があなたの成績評価に影響することは全くありません。より充実した授業にするために資することを目的としたものですので、真摯な態度で回答するよう、ご協力をお願いします。

回答方法

- ① 質問項目についてあてはまる回答を選択してください。また、下段にある自由記述欄には、指示に従って記入してください。
- ② 最後に画面右下の「回答」ボタンを押してください。

Q01:所属学科(必須)

- ☐ 1. 商学科 ☐ 2. 観光マネジメント学科 ☐ 3. 経営情報学科 ☐ 4. 貿易・観光学科

Q02:在籍学年(必須)

- ☐ 1. 1年生 ☐ 2. 2年生 ☐ 3. 3年生 ☐ 4. 4年生

Q03:この授業の難易度は適切だ(必須)

- ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. どちらともいえない ☐ 4. そう思わない ☐ 5. まったくそう思わない

Q04:この授業の学習内容の分量は適切だ(必須)

- ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. どちらともいえない ☐ 4. そう思わない ☐ 5. まったくそう思わない

Q05:教員は学生の理解を深めるための配慮・工夫をしていた(必須)

- ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. どちらともいえない ☐ 4. そう思わない ☐ 5. まったくそう思わない

Q06:教員の話し方・説明の仕方は分かりやすかった(必須)

- ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. どちらともいえない ☐ 4. そう思わない ☐ 5. まったくそう思わない

Q07:教科書や配布資料等は理解の助けになった(必須)

- ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. どちらともいえない ☐ 4. そう思わない ☐ 5. まったくそう思わない

Q08:シラバスと実際の授業内容はほぼ対応していた(必須)

- ☐ 0. シラバスは読まなかった ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. どちらともいえない ☐ 4. そう思わない
☐ 5. まったくそう思わない

Q09:教員は学生とのコミュニケーション(口頭やインターネット上で質問を受ける、ディスカッションの機会を設ける等)に配慮していた(必須)

- ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. どちらともいえない ☐ 4. そう思わない ☐ 5. まったくそう思わない

Q10:あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間当たり)は?(必須)

- ☐ 1. 全くしない ☐ 2. 30分未満 ☐ 3. 30分～1時間未満 ☐ 4. 1時間～2時間未満 ☐ 5. 2時間～3時間未満 ☐ 6. 3時間以上

Q11:この授業で、幅広い教養とモラル(倫理)や、各学科の基礎となる専門的知識・技能を修得できた(必須)

- ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. そう思わない ☐ 4. まったくそう思わない

Q12:この授業で、さまざまな問題を発見、分析し、論理的に思考して解決できる力を修得できた(必須)

- ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. そう思わない ☐ 4. まったくそう思わない

Q13:この授業で、他者の意見に耳を傾け、自分の考えを文章にまとめたり、口頭で発表するする力を修得できた(必須)

- ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. そう思わない ☐ 4. まったくそう思わない

Q14:この授業で、社会への貢献を志し、良き市民、将来の良きビジネスパーソンとして行動する力を修得できた(必須)

- ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. そう思わない ☐ 4. まったくそう思わない

Q15:この授業で、主体的に行動し他者と協働するコラボレーション力を修得できた(必須)

- ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. そう思わない ☐ 4. まったくそう思わない

Q16:この授業で、専門的知識・技能を活用する力を修得できた(必須)

- ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. そう思わない ☐ 4. まったくそう思わない

Q17:総合的に判断して、この授業に満足している(必須)

- ☐ 1. とてもそう思う ☐ 2. そう思う ☐ 3. どちらともいえない ☐ 4. そう思わない ☐ 5. まったくそう思わない

Q18:この授業に対して、良かった点や改善すべき点などがあれば、入力してください。(200文字以内)

↑

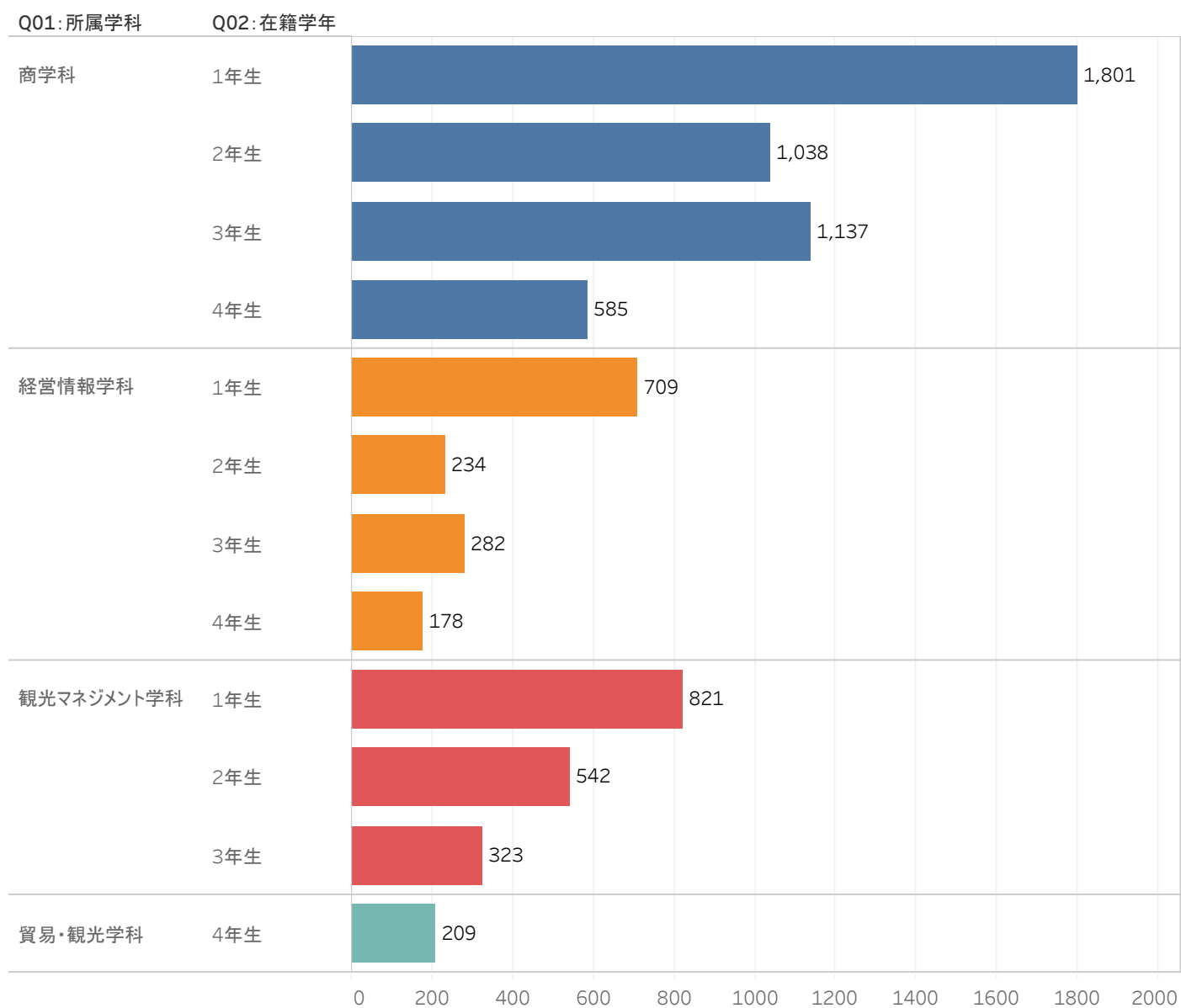
↓

ご協力ありがとうございます。
IR委員会

回答

Ⅱ. 質問項目別調査結果 (学年学科別単純集計)

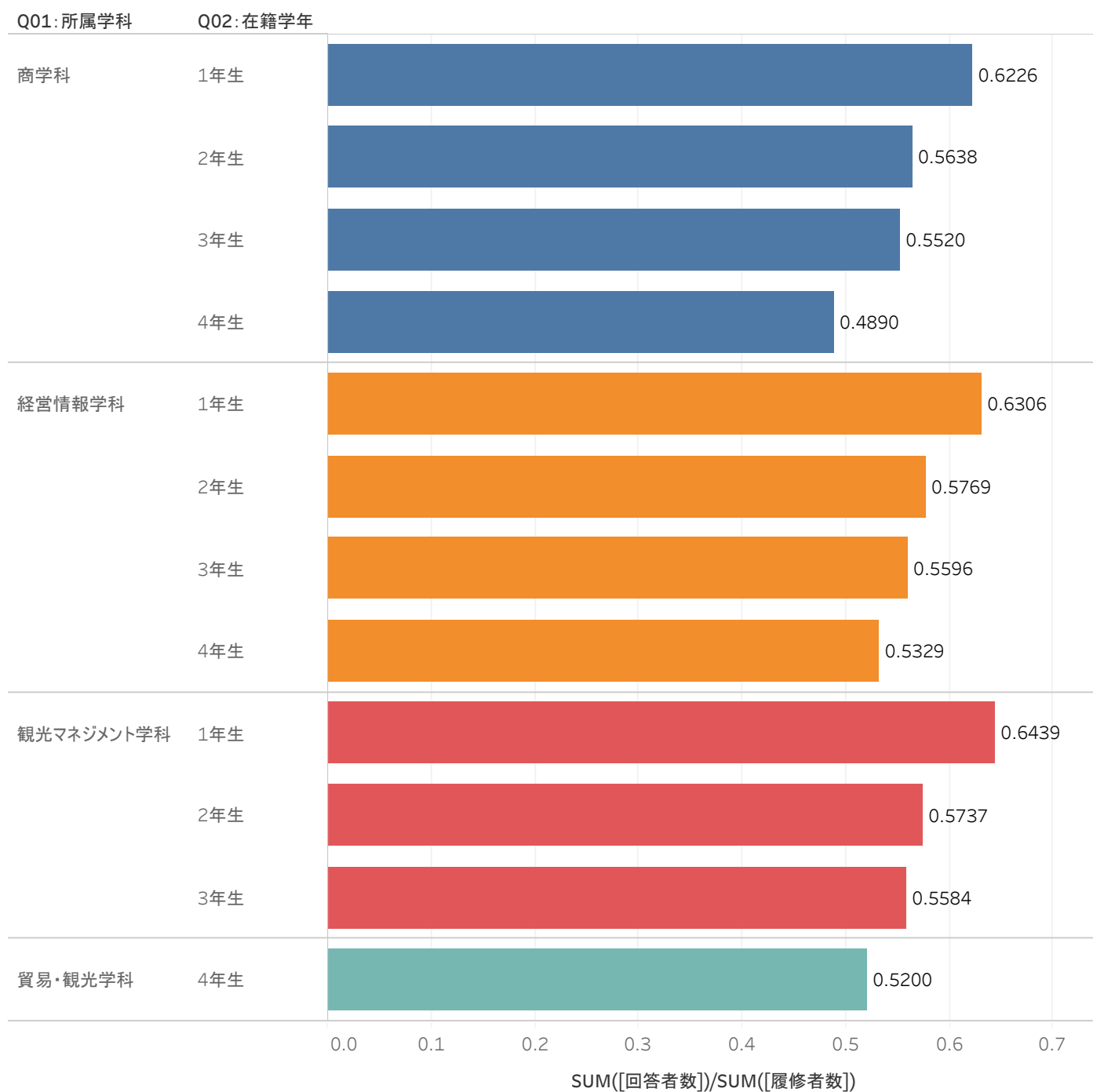
Q01:所属学科・Q02:在籍学年別 延べ回答者数



Q01:所属学科 のカウント

- 商学科
- 経営情報学科
- 観光マネジメント学科
- 貿易・観光学科

Q01:所属学科・Q02:在籍学年別 学生回答率

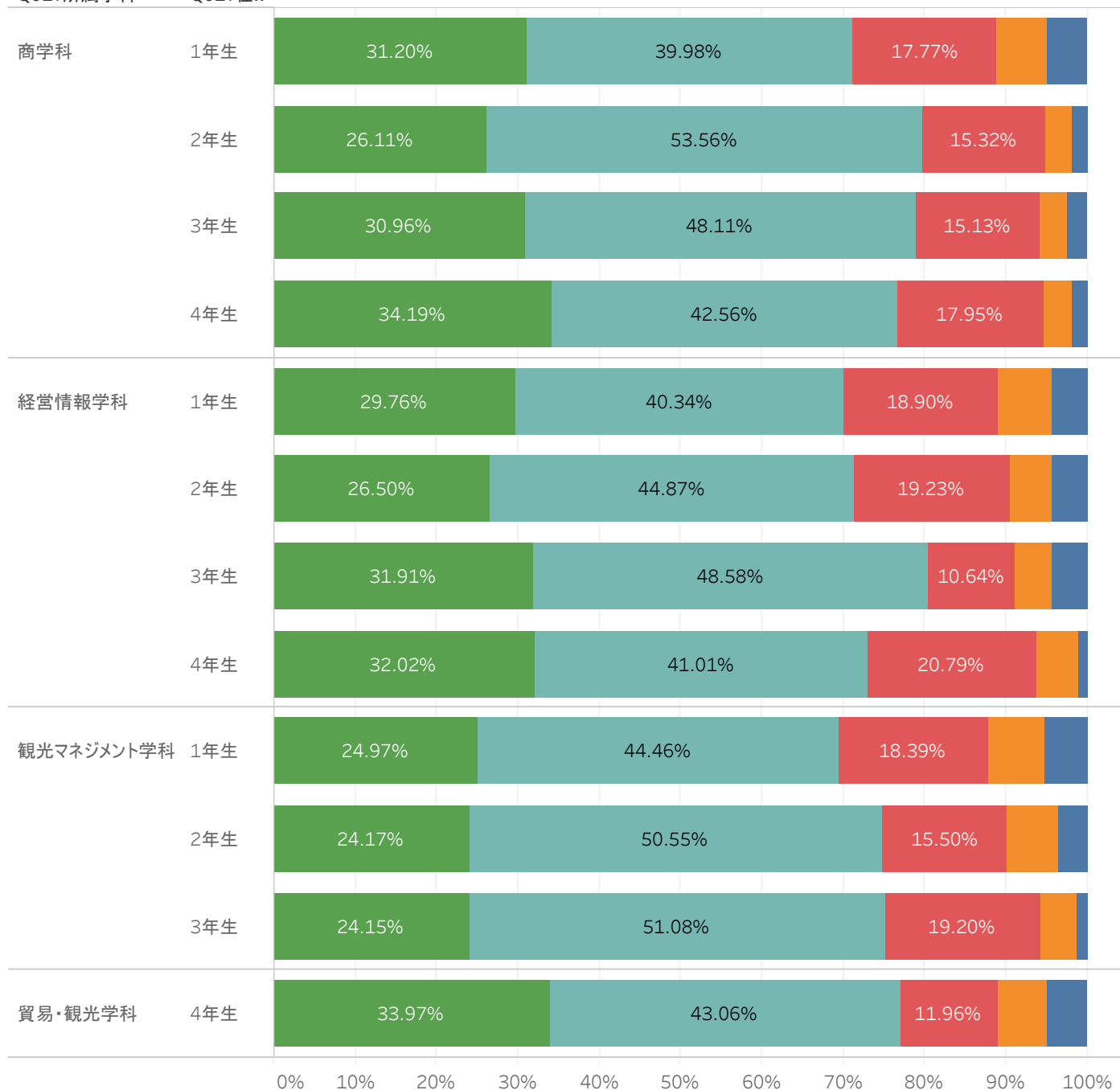


- 商学科
- 経営情報学科
- 観光マネジメント学科
- 貿易・観光学科

Q03:この授業の難易度は適切だ

Q01:所属学科

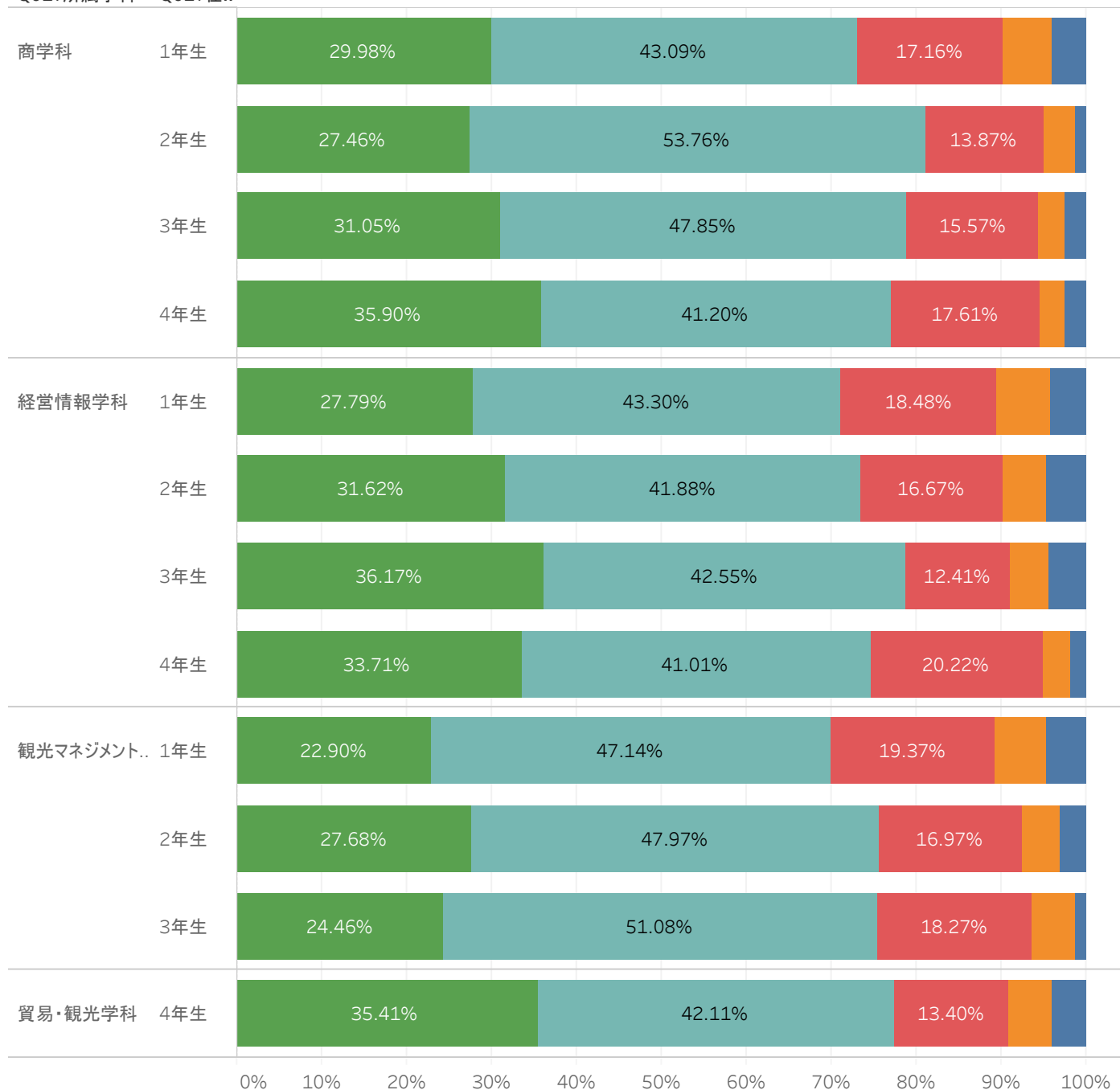
Q02:在..



- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらともいえない
- 4. そう思う
- 5. とてもそう思う

Q04:この授業の学習内容の分量は適切だ

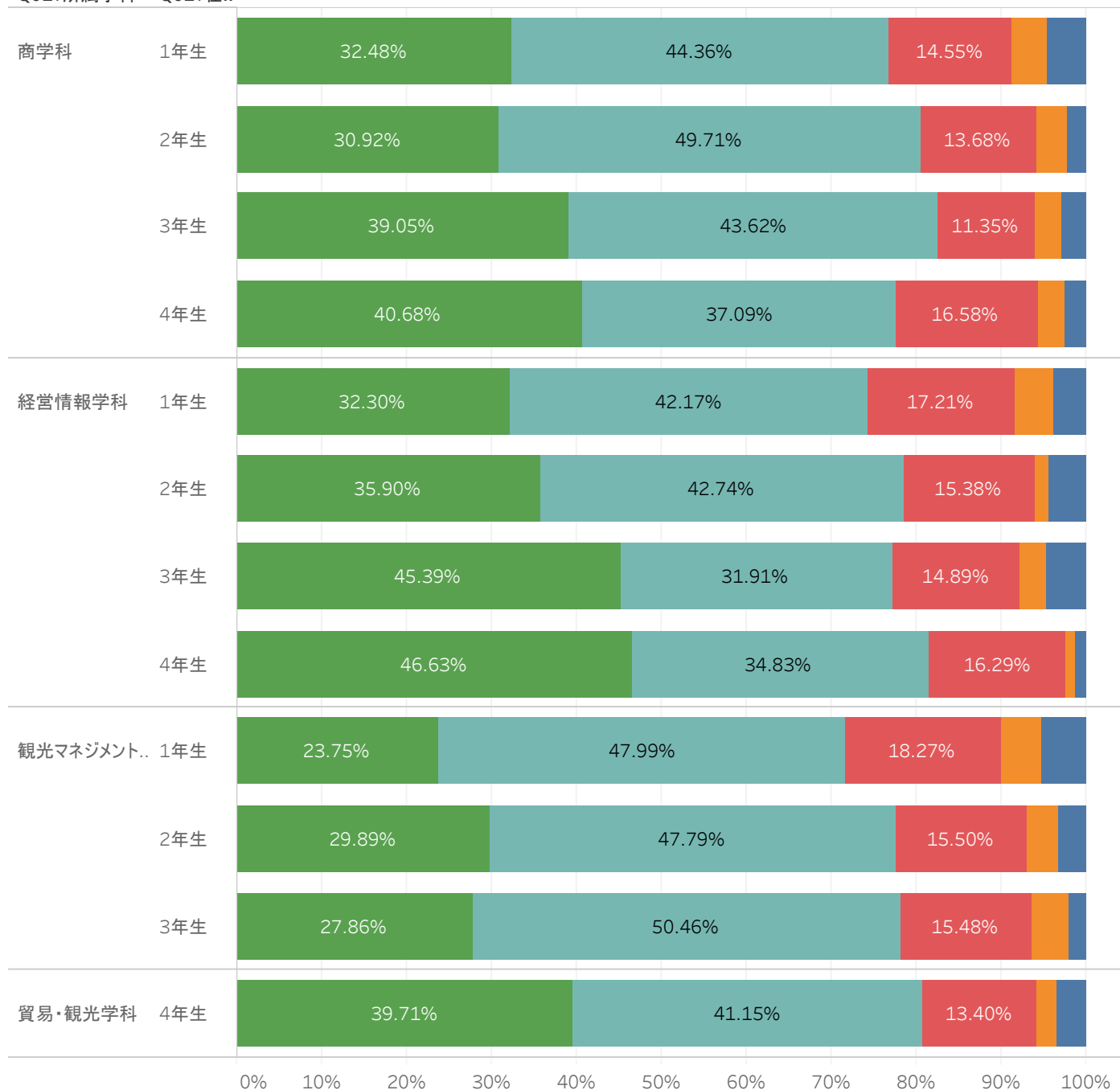
Q01:所属学科 Q02:在..



- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらともいえない
- 4. そう思う
- 5. とてもそう思う

Q05:教員は学生の理解を深めるための配慮・工夫をしていた

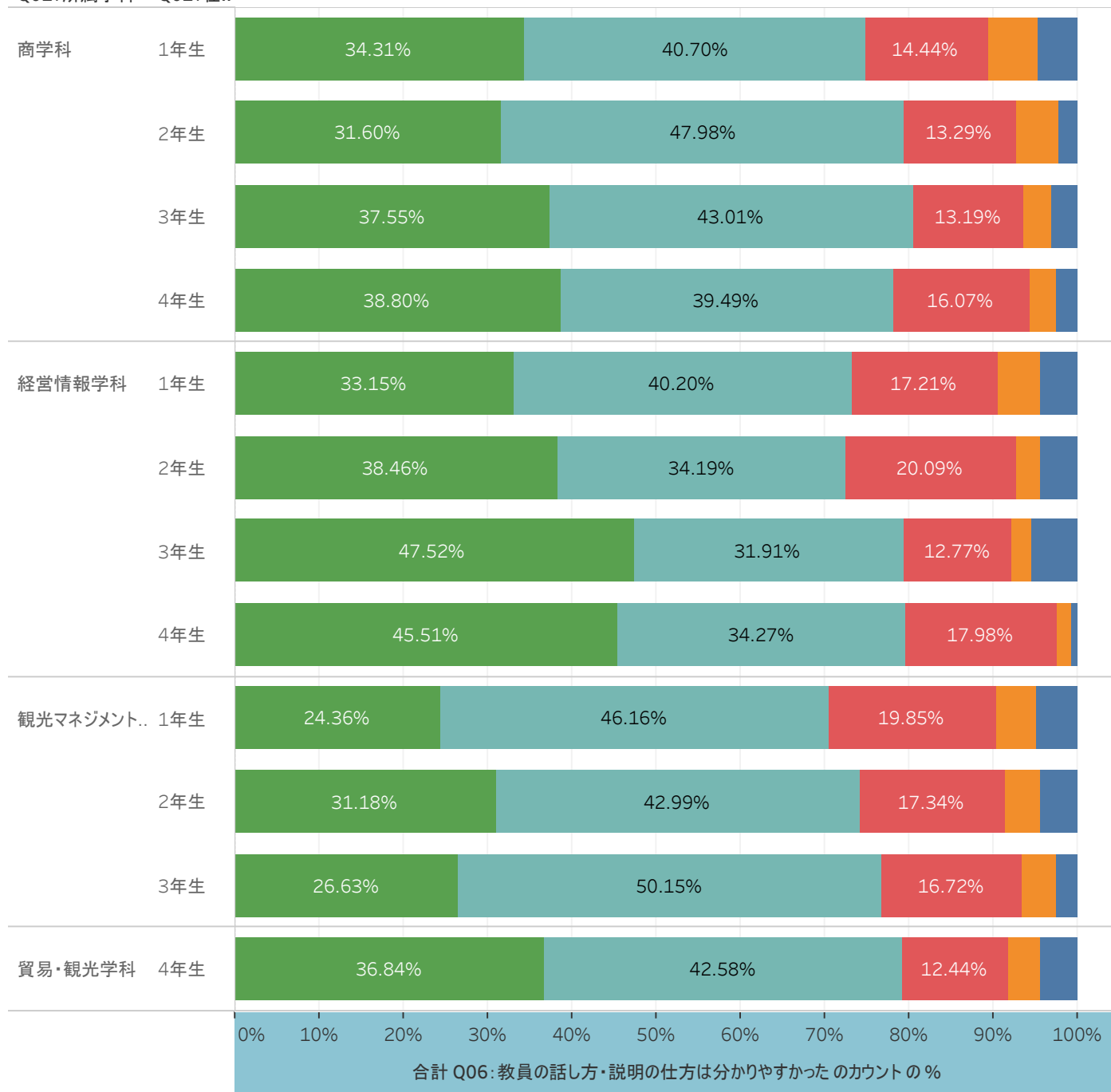
Q01:所属学科 Q02:在..



- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらともいえない
- 4. そう思う
- 5. とてもそう思う

Q06:教員の話し方・説明の仕方は分かりやすかった

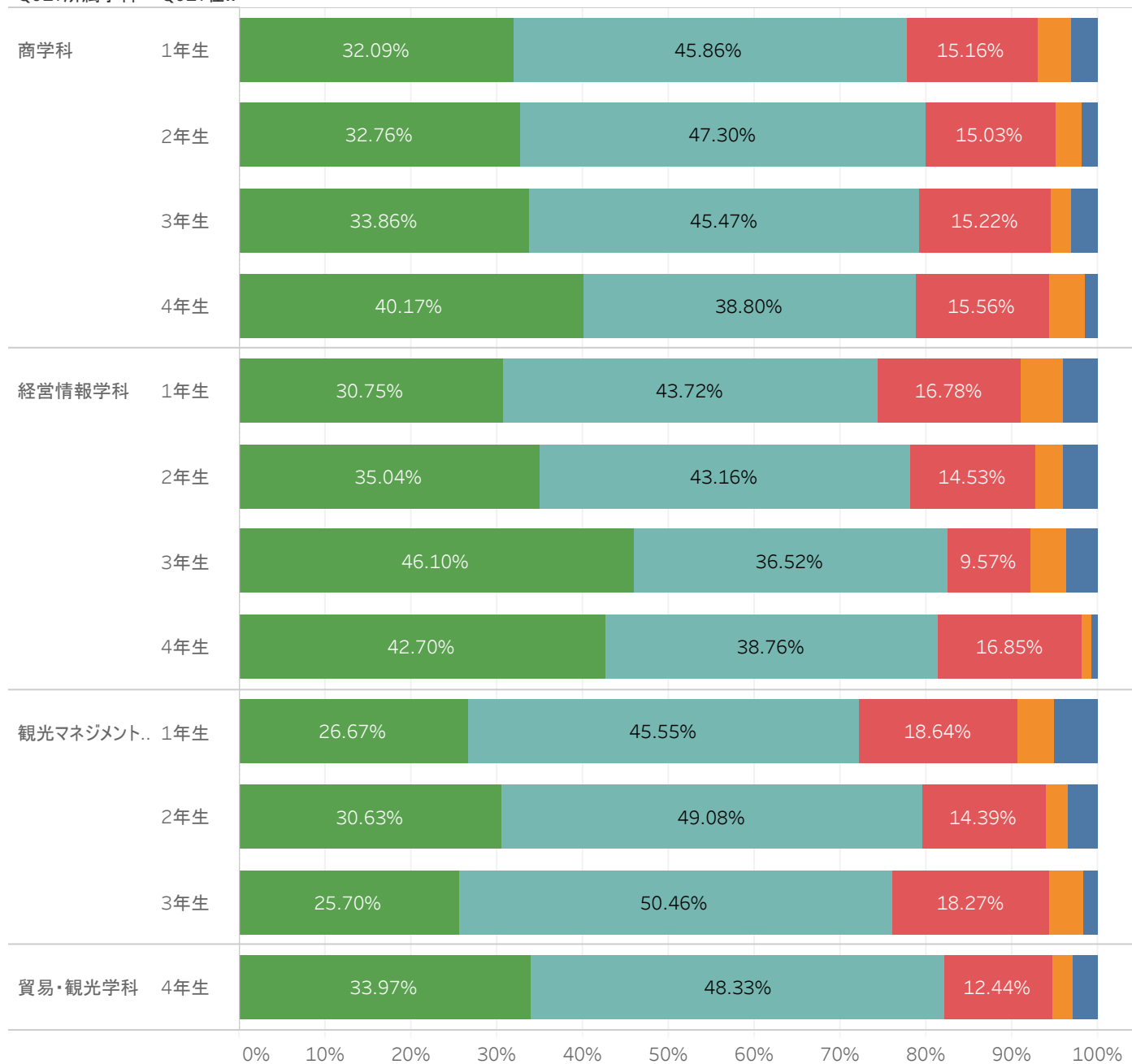
Q01:所属学科 Q02:在..



- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらともいえない
- 4. そう思う
- 5. とても思う

Q07:教科書や配布資料等は理解の助けになった

Q01:所属学科 Q02:在..

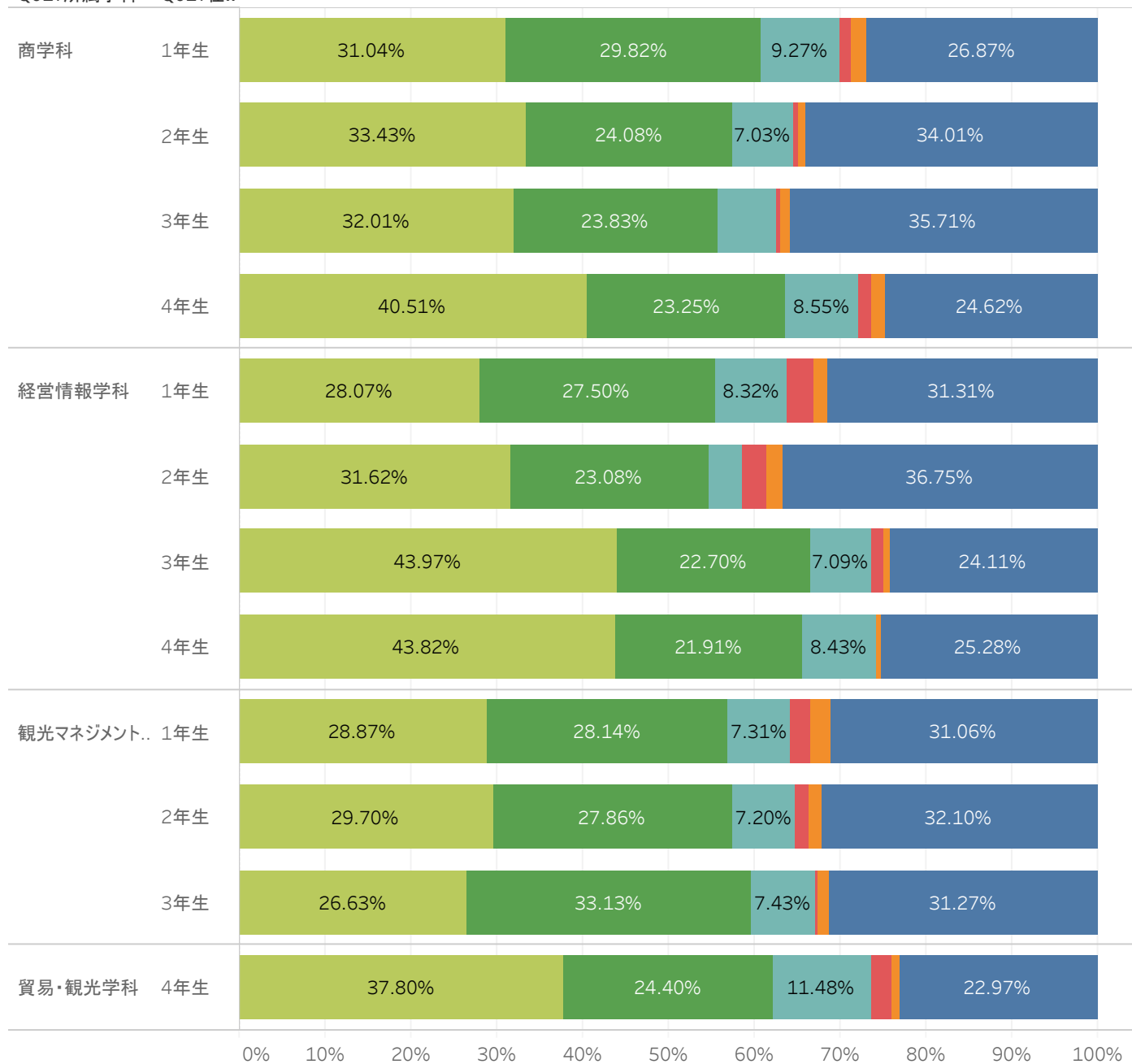


合計 Q07:教科書や配布資料等は理解の助けになった のカウントの%

- 1. まったく思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらともいえない
- 4. そう思う
- 5. とても思う

Q08: シラバスと実際の授業内容はほぼ対応していた

Q01: 所属学科 Q02: 在..

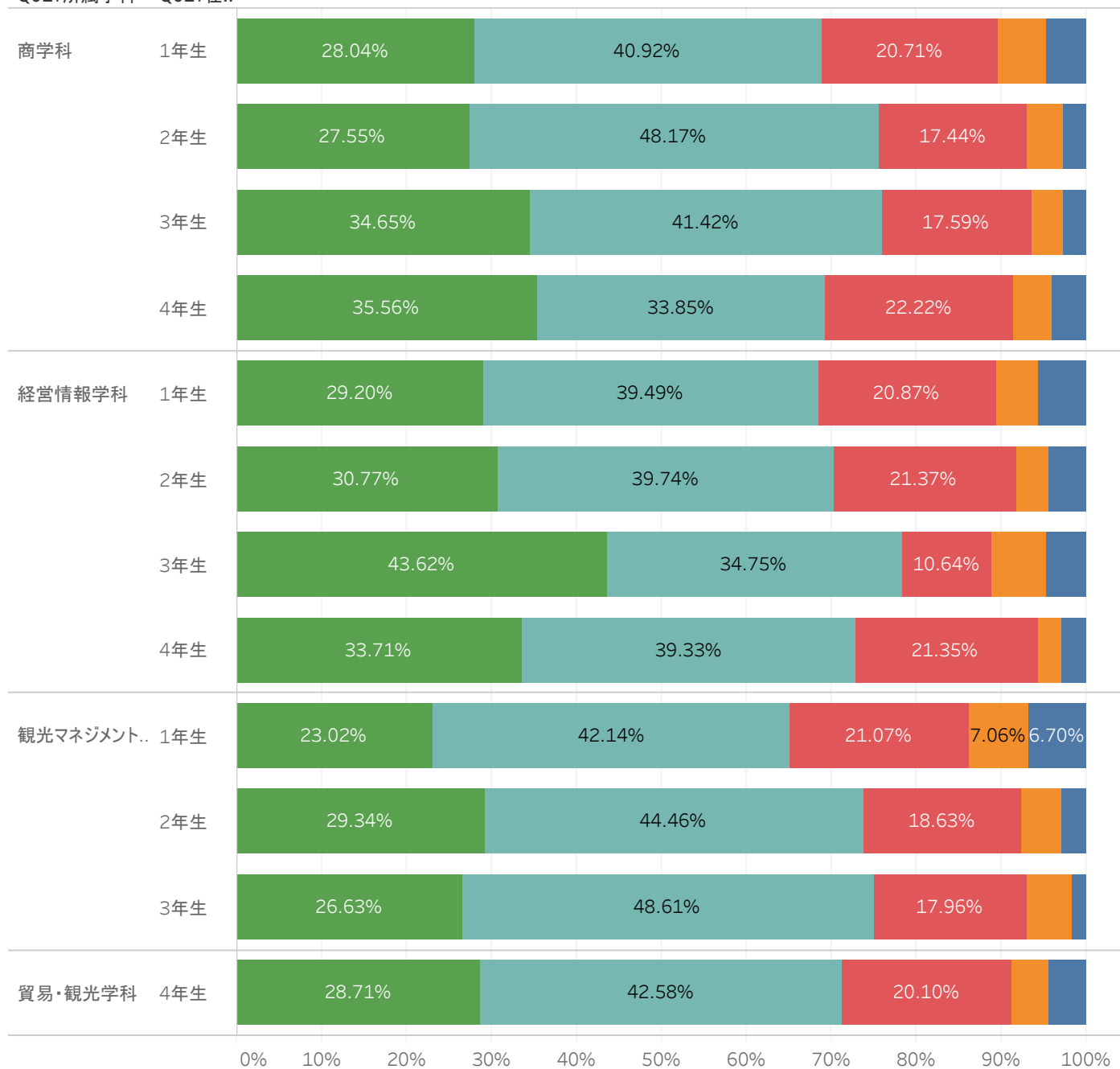


合計 Q08: シラバスと実際の授業内容はほぼ対応していた のカウントの %

- 0. シラバスは読まなかった
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらともいえない
- 4. そう思う
- 5. とても思う

Q09:教員は学生とのコミュニケーション(口頭やインターネット上で質問を受ける、ディスカッションの機会を設ける等)に配慮していた

Q01:所属学科 Q02:在..

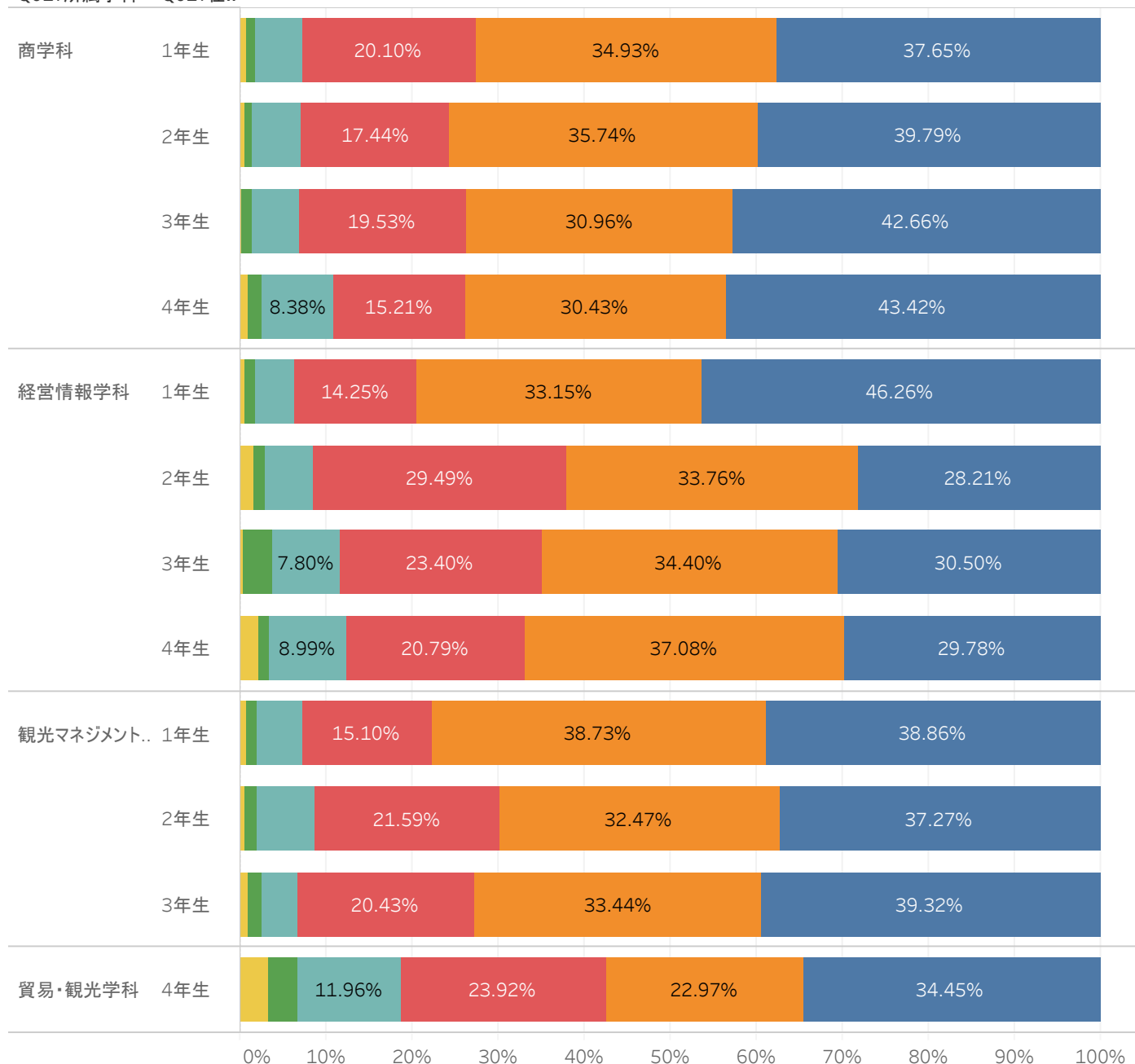


合計 Q09:教員は学生とのコミュニケーション(口頭やインターネット上で質問を受ける、ディスカッションの機会を設ける等)に..

- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらともいえない
- 4. そう思う
- 5. とても思う

Q10: あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間当たり)は？

Q01: 所属学科 Q02: 在..

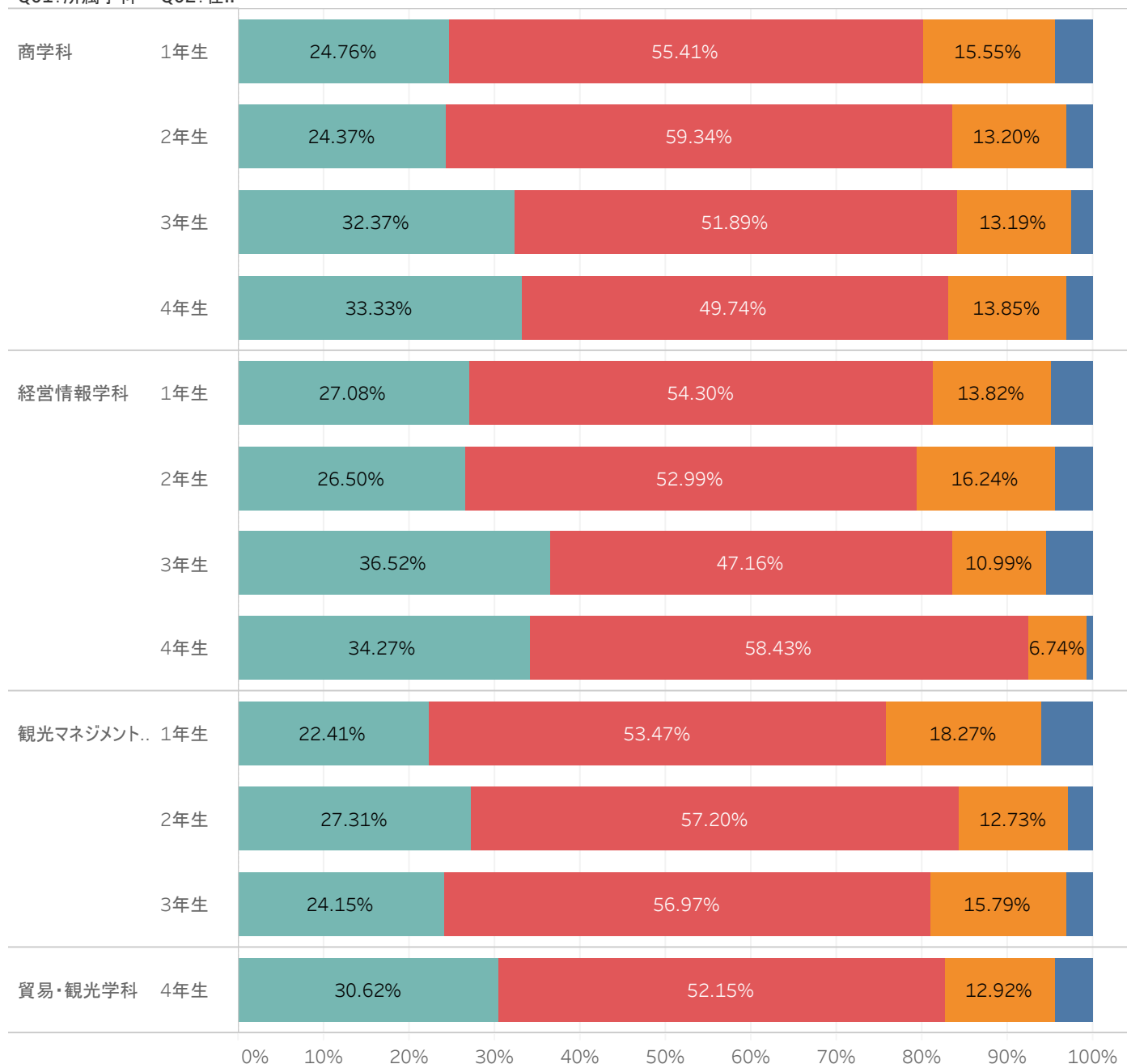


合計 Q10: あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間当たり)は？ のカウントの %

- 1. まったくしない
- 2. 30分未満
- 3. 30分～1時間未満
- 4. 1時間～2時間未満
- 5. 2時間～3時間未満
- 6. 3時間以上

Q11:この授業で、幅広い教養とモラル(倫理)や、各学科の基礎となる専門的知識・技能を修得できた

Q01:所属学科 Q02:在..

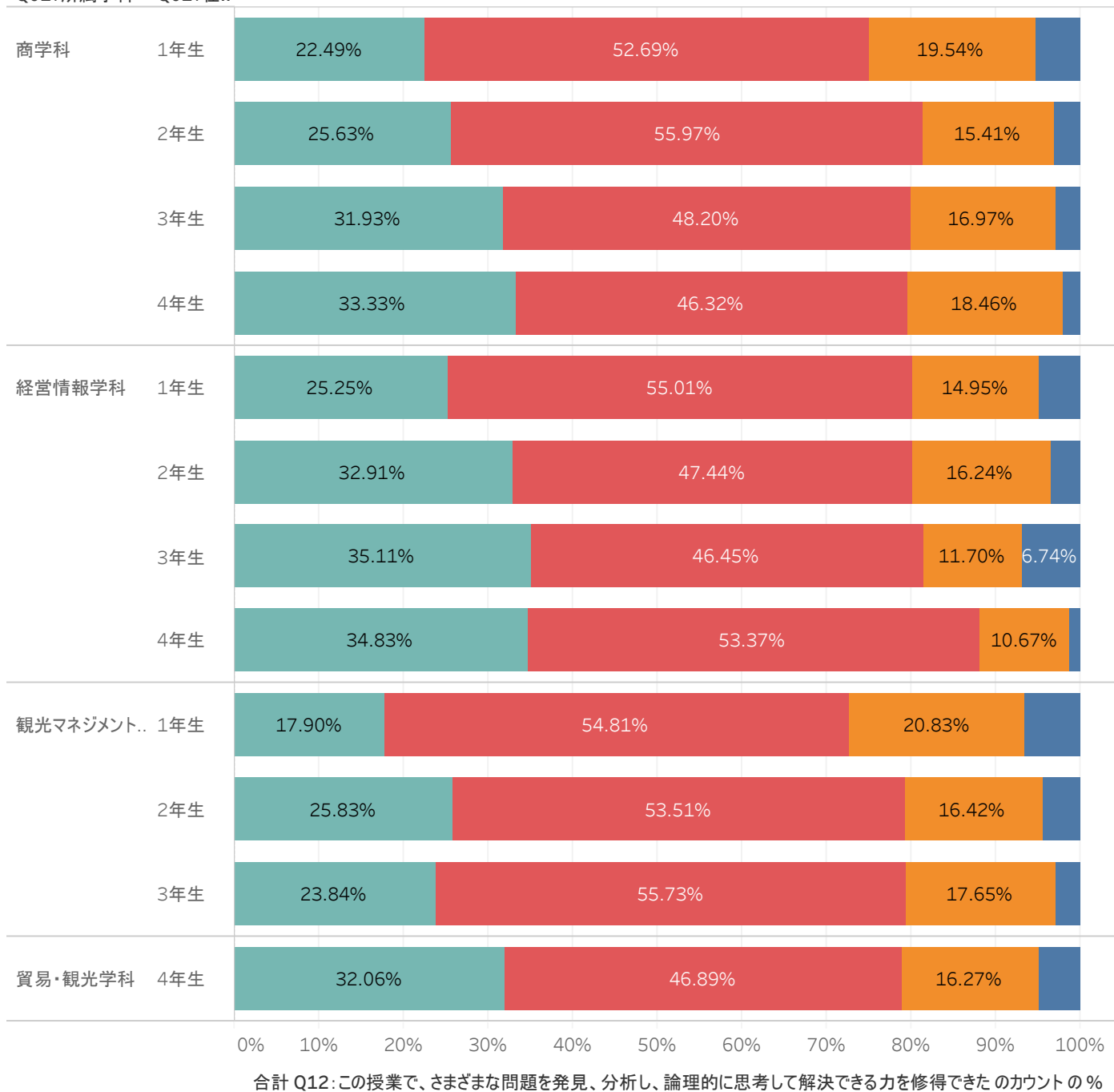


合計 Q11:この授業で、幅広い教養とモラル(倫理)や、各学科の基礎となる専門的知識・技能を修得できた のカウントの..

- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

Q12:この授業で、さまざまな問題を発見、分析し、論理的に思考して解決できる力を修得できた

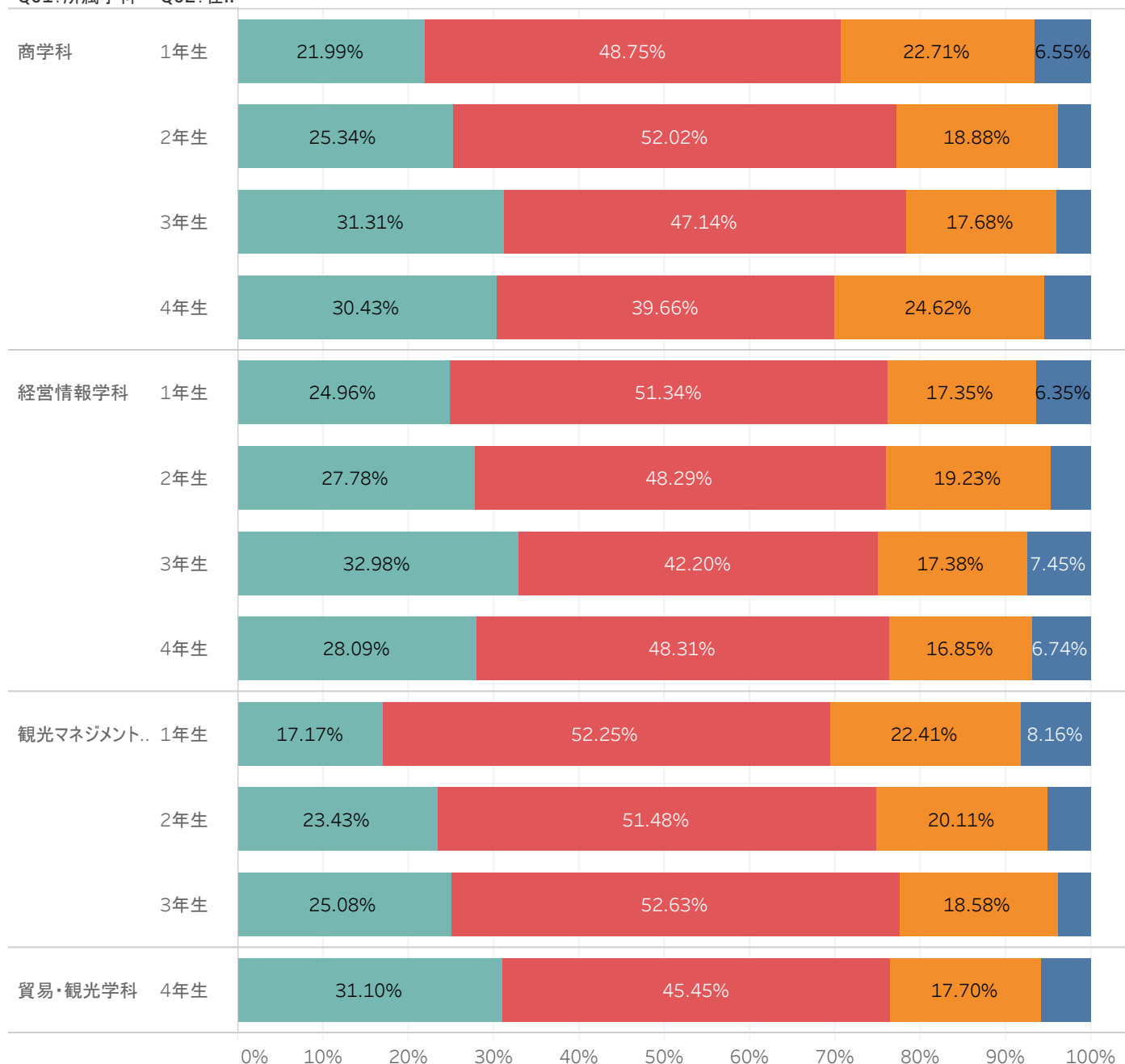
Q01:所属学科 Q02:在..



- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

Q13:この授業で、他者の意見に耳を傾け、自分の考えを文章にまとめたり、口頭で発表する力を修得できた

Q01:所属学科 Q02:在..

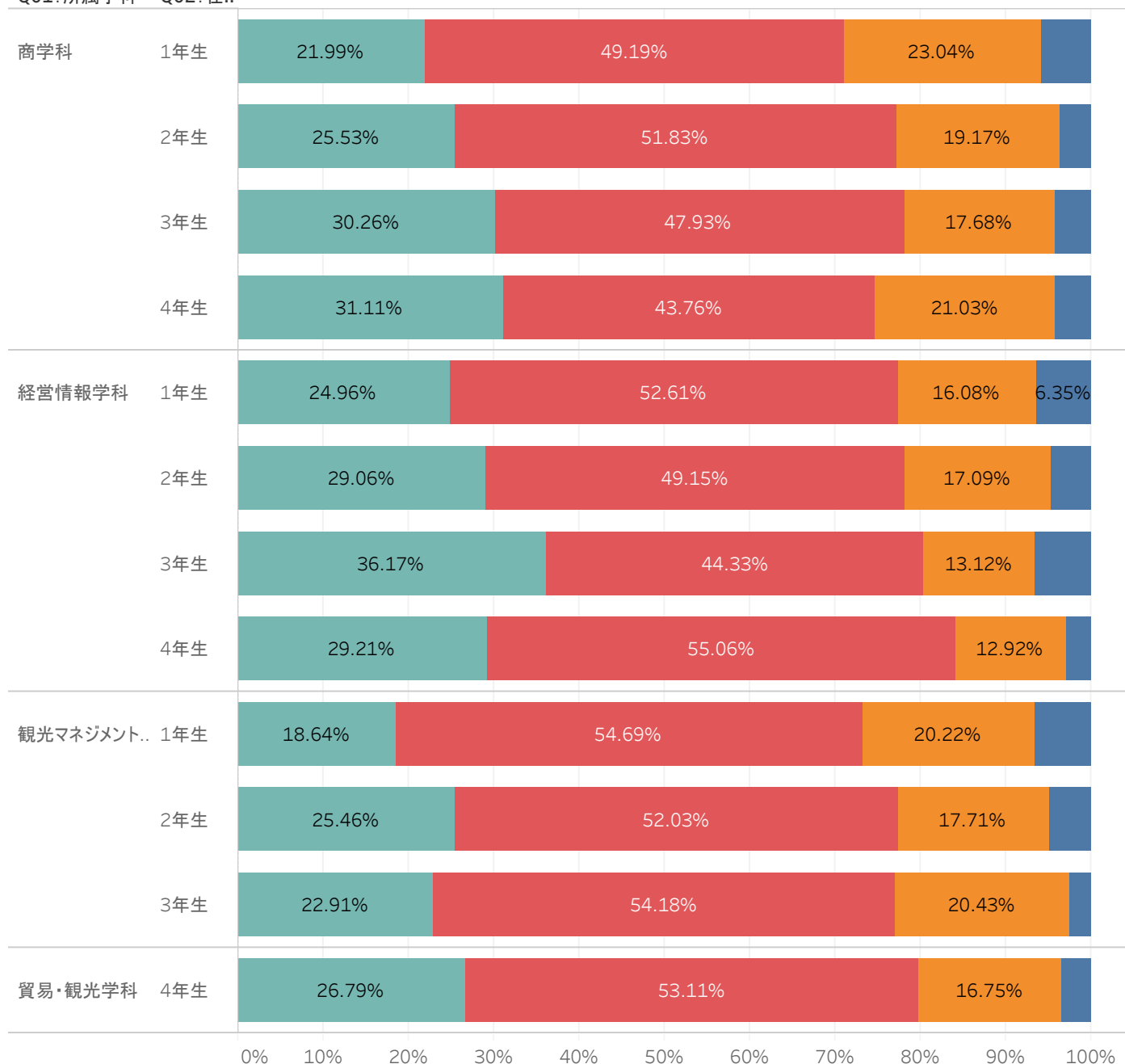


合計 Q13:この授業で、他者の意見に耳を傾け、自分の考えを文章にまとめたり、口頭で発表する力を修得できたの..

- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

Q14:この授業で、社会への貢献を志し、良き市民、将来の良きビジネスパーソンとして行動する力を修得できた

Q01:所属学科 Q02:在..

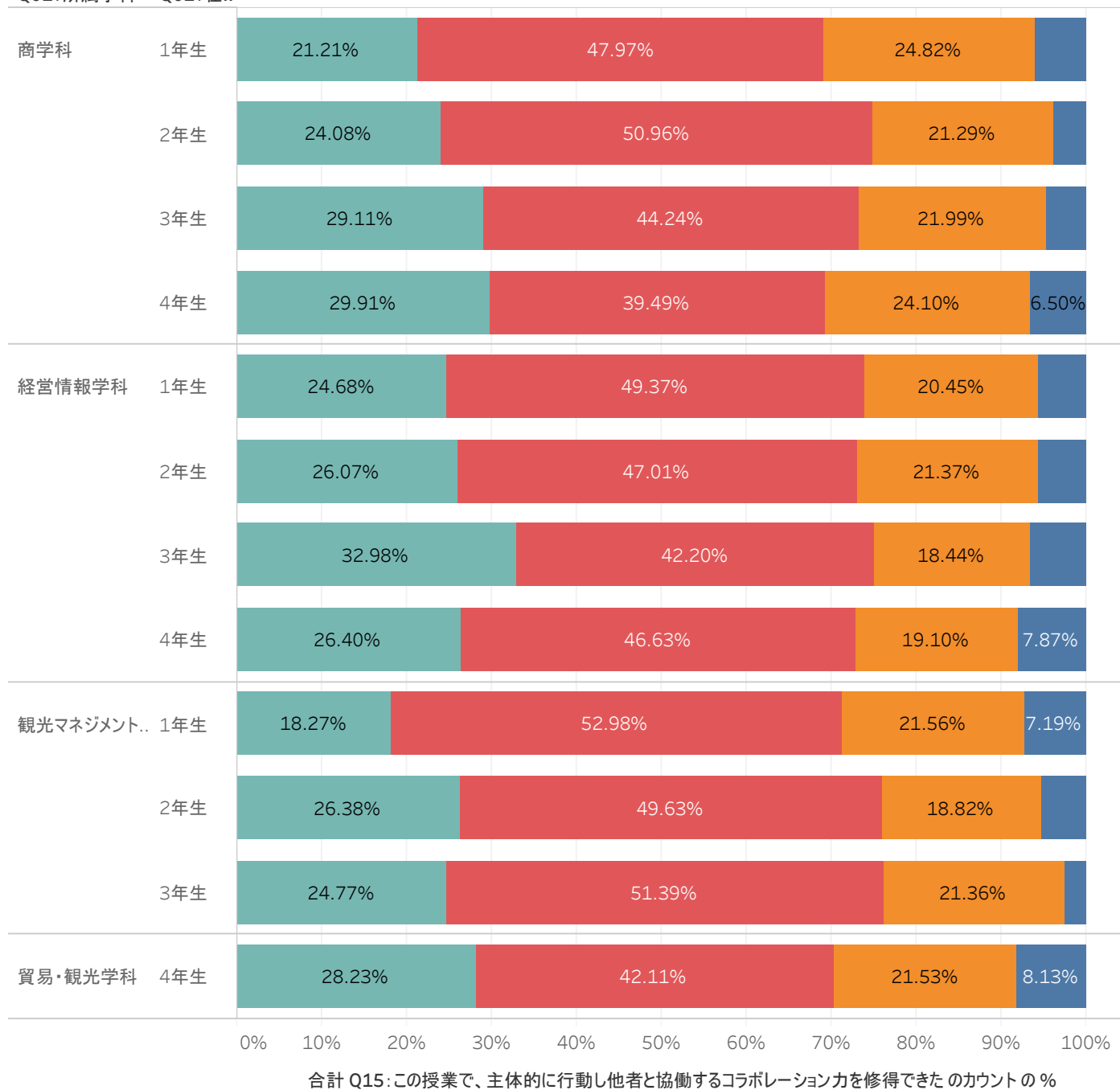


合計 Q14:この授業で、社会への貢献を志し、良き市民、将来の良きビジネスパーソンとして行動する力を修得できたのか..

- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

Q15:この授業で、主体的に行動し他者と協働するコラボレーション力を修得できた

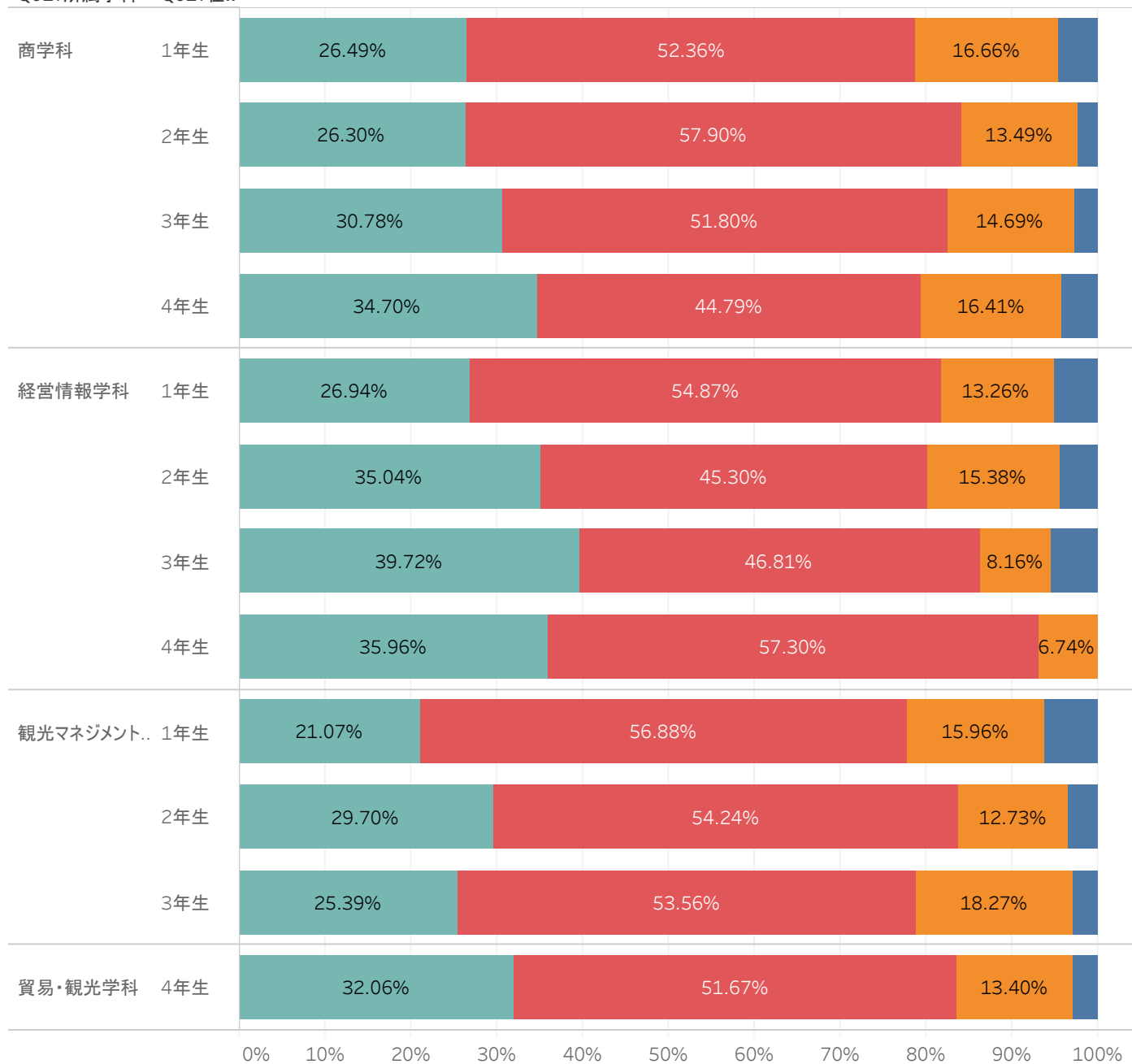
Q01:所属学科 Q02:在..



- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

Q16:この授業で、専門的知識・技能を活用する力を修得できた

Q01:所属学科 Q02:在..

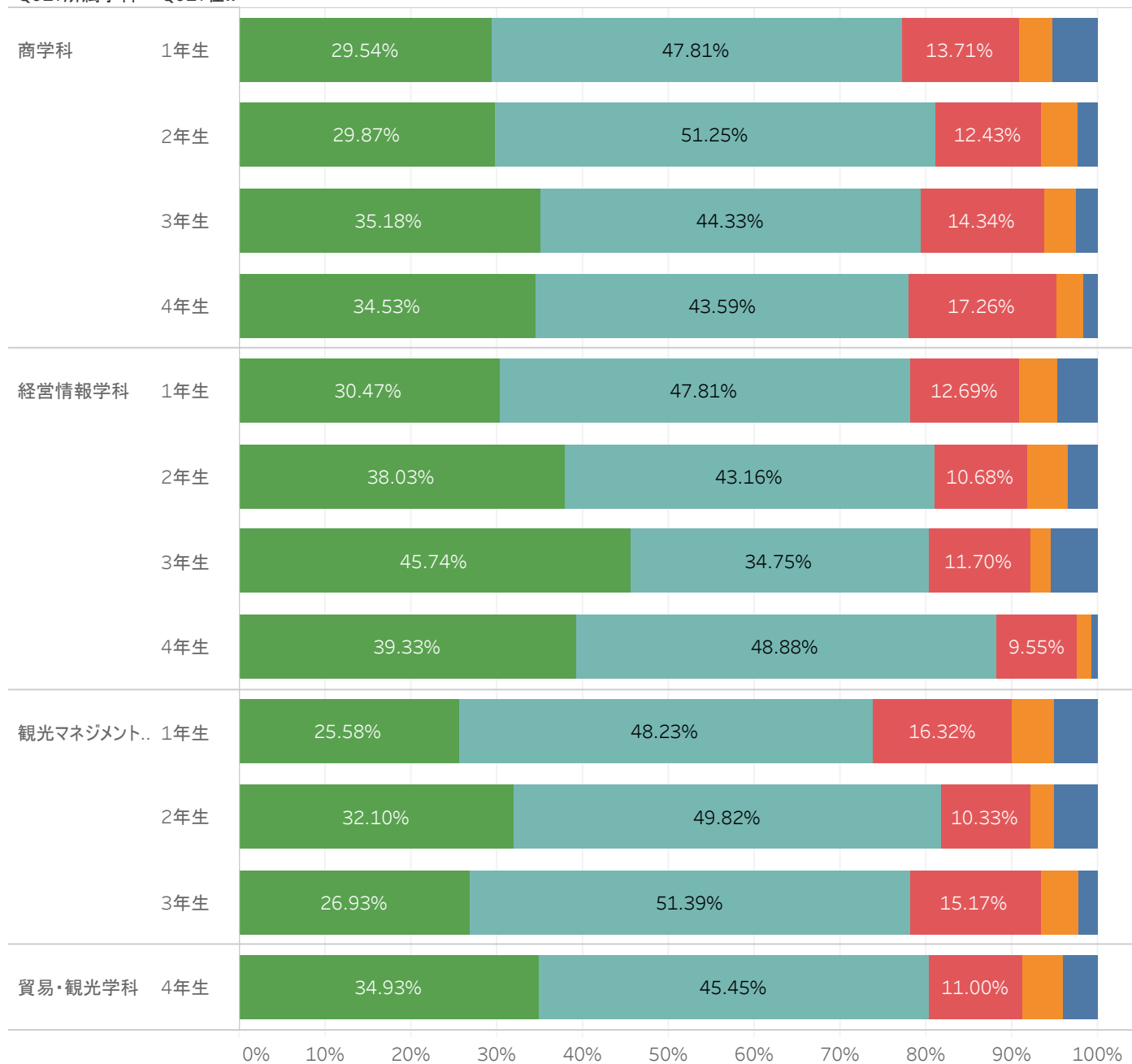


合計 Q16:この授業で、専門的知識・技能を活用する力を修得できた のカウントの %

- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とても思う

Q17:総合的に判断して、この授業に満足している

Q01:所属学科 Q02:在..



合計 Q17:総合的に判断して、この授業に満足している のカウントの%

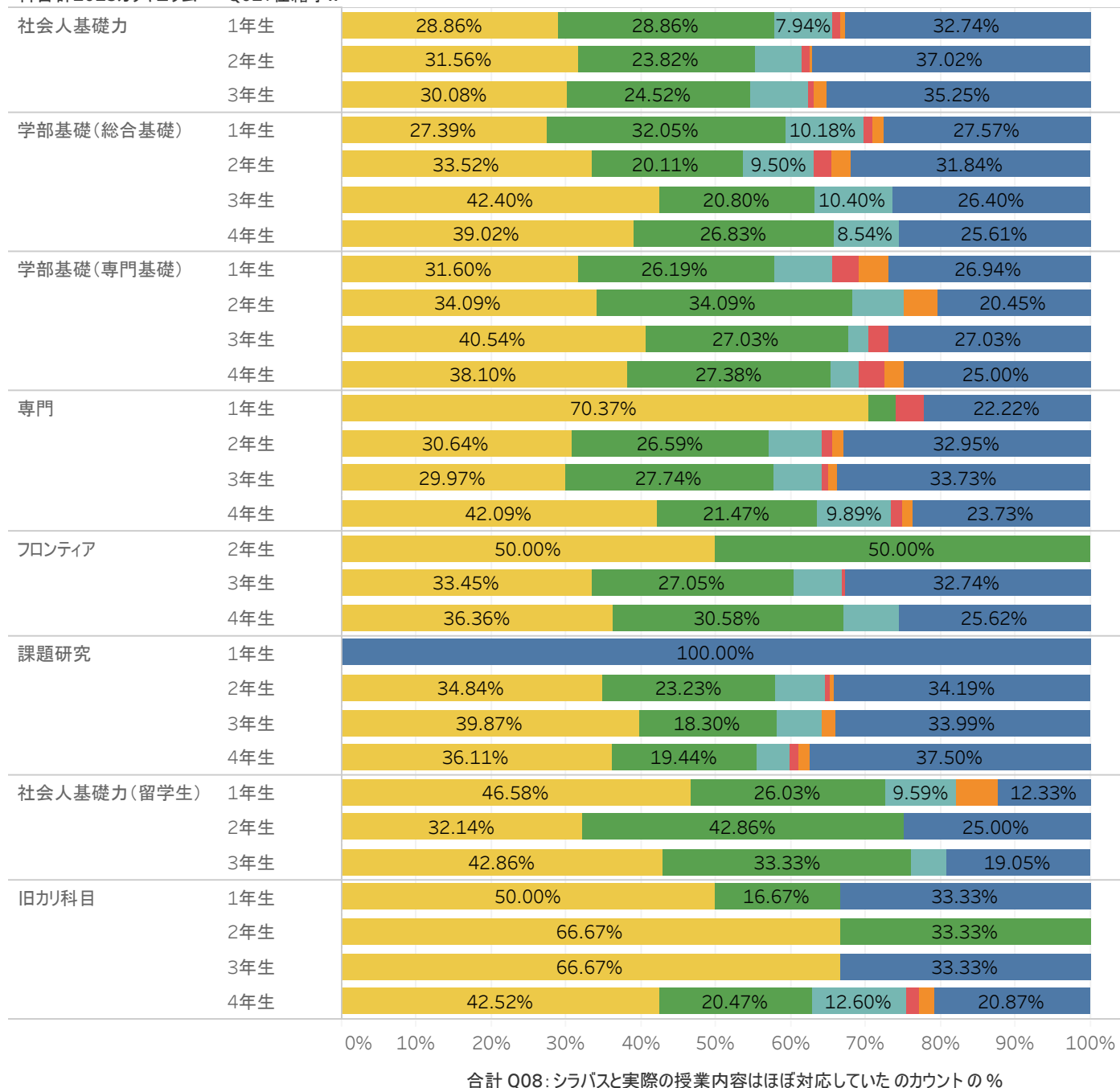
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらともいえない
- 4. そう思う
- 5. とても思う

Ⅲ. 付録:分析別クロス集計グラフ

1. 科目群別 設問 8 : シラバス対応
2. 学科別 設問 10 : 予習復習時間
3. 学年別 設問 10 : 予習復習時間
4. 科目群別 設問 10 : 予習復習時間
5. 科目群別 設問 17 : 満足度
6. 科目群別・学年別 成績と授業満足度
7. ディプロマ・ポリシー達成度
8. 2015 カリキュラム科目群別 ディプロマ・ポリシー達成度
9. 学科別 ディプロマ・ポリシー達成度

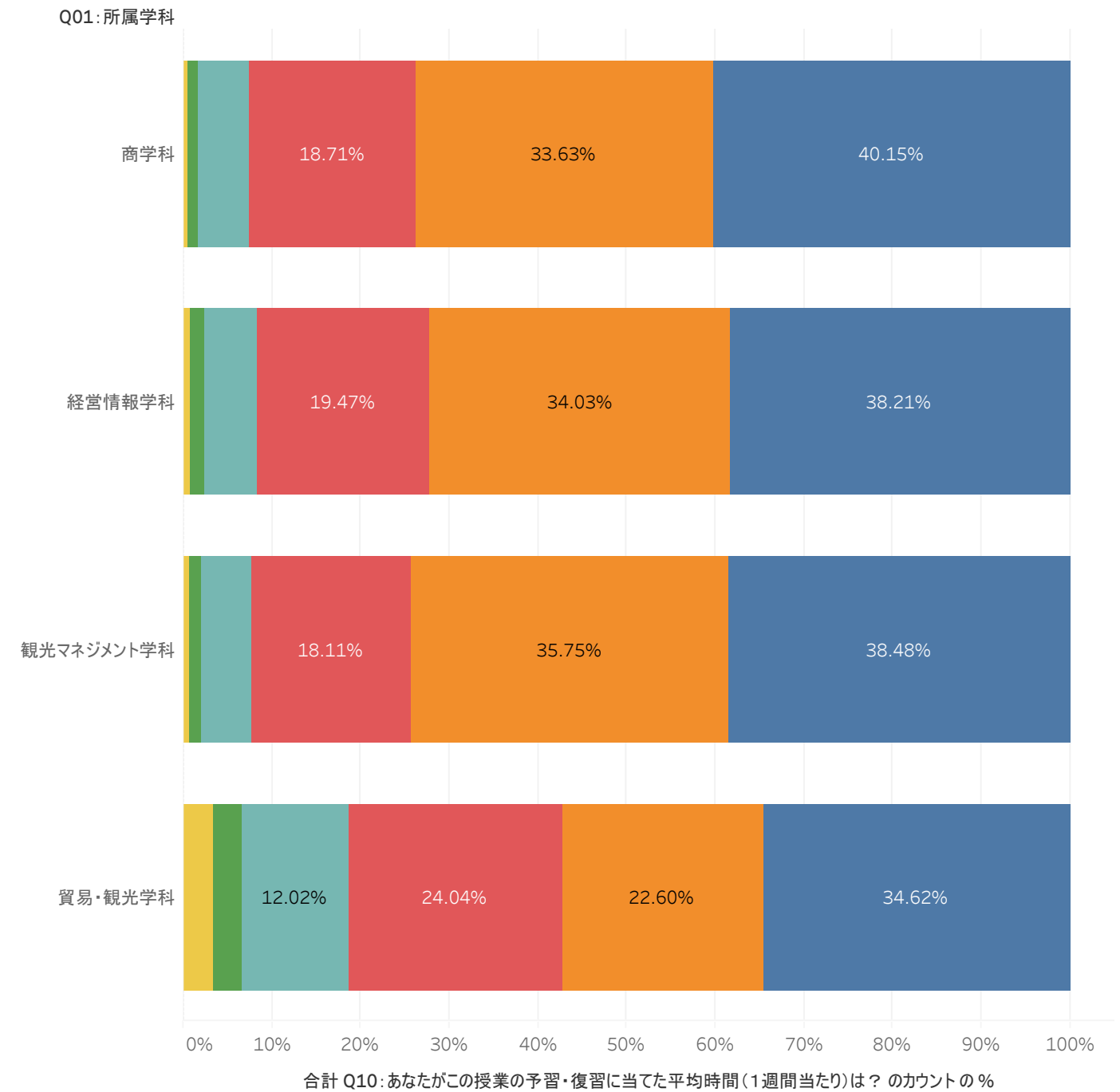
科目群別Q08: シラバスと実際の授業内容はほぼ対応していた

科目群2015カリキュラム Q02: 在籍学..



- 0. シラバスは読まなかった
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらともいえない
- 4. そう思う
- 5. とてもそう思う

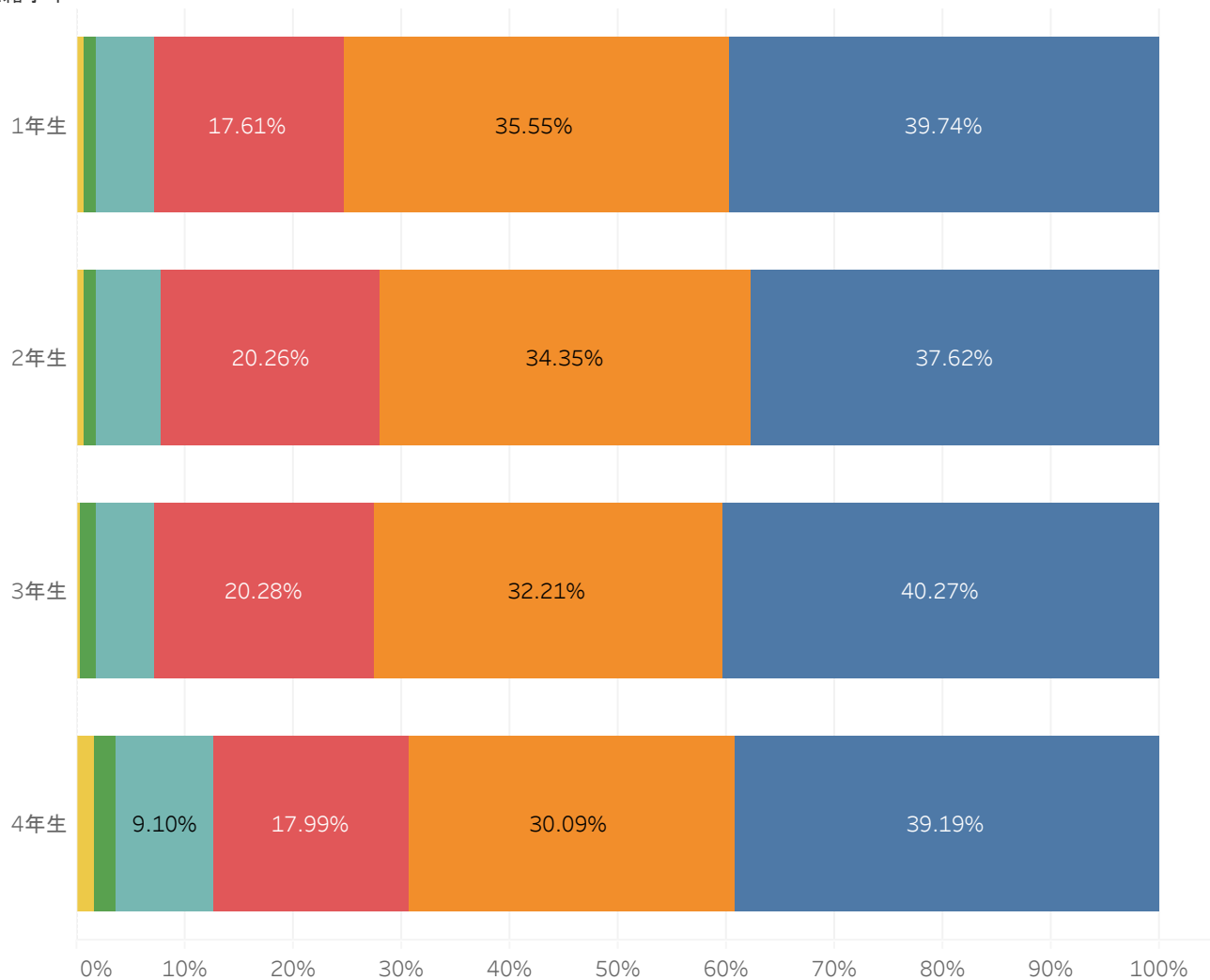
学科別Q10.授業予習・復習平均時間/週



- 1. まったくしない
- 2. 30分未満
- 3. 30分～1時間未満
- 4. 1時間～2時間未満
- 5. 2時間～3時間未満
- 6. 3時間以上

学年別Q10:授業予習・復習平均時間/週

Q02:在籍学年

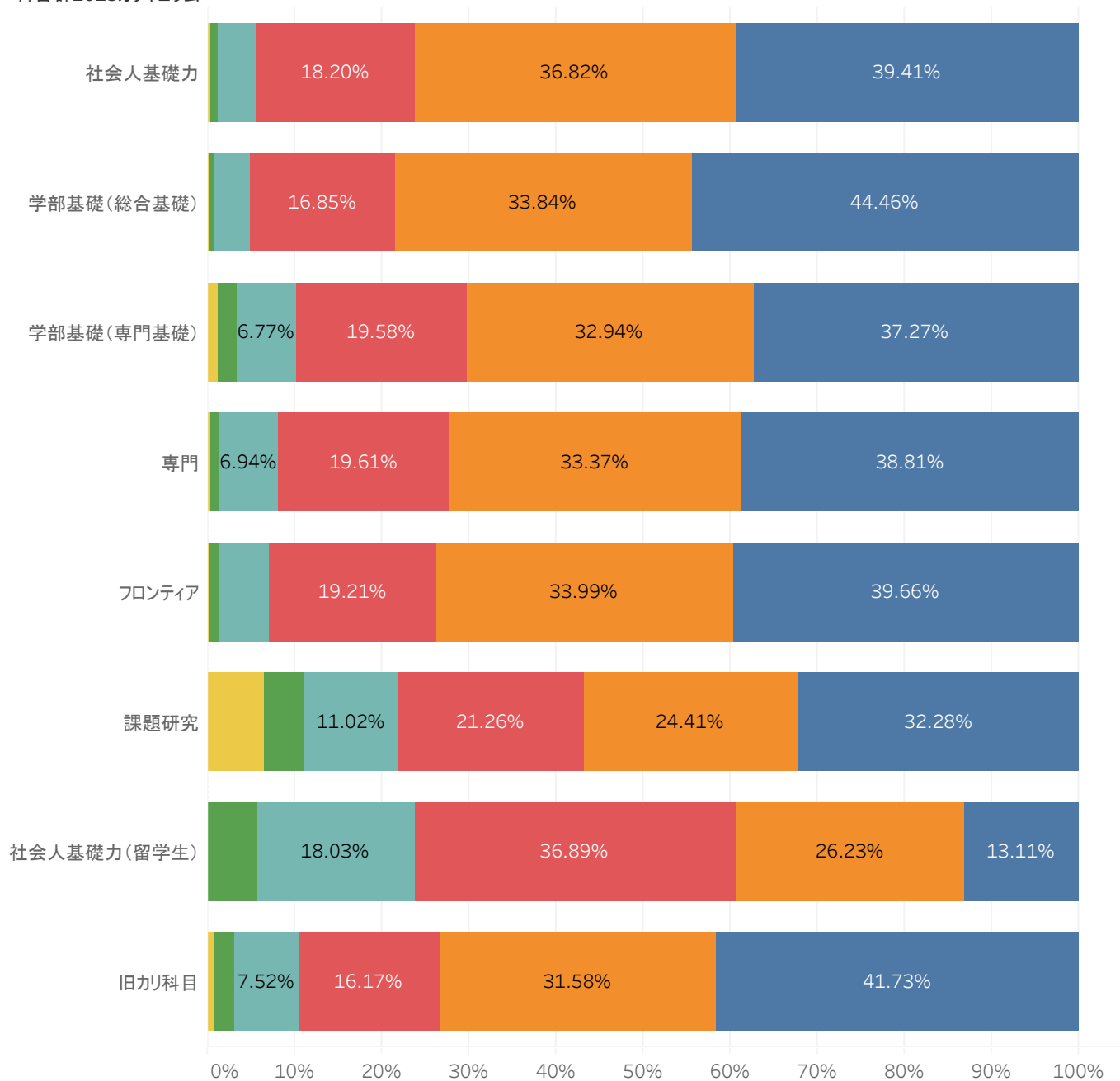


合計 Q10:あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間当たり)は？ のカウントの%

- 1. まったくしない
- 2. 30分未満
- 3. 30分～1時間未満
- 4. 1時間～2時間未満
- 5. 2時間～3時間未満
- 6. 3時間以上

科目群別Q10.授業予習・復習平均時間/週

科目群2015カリキュラム

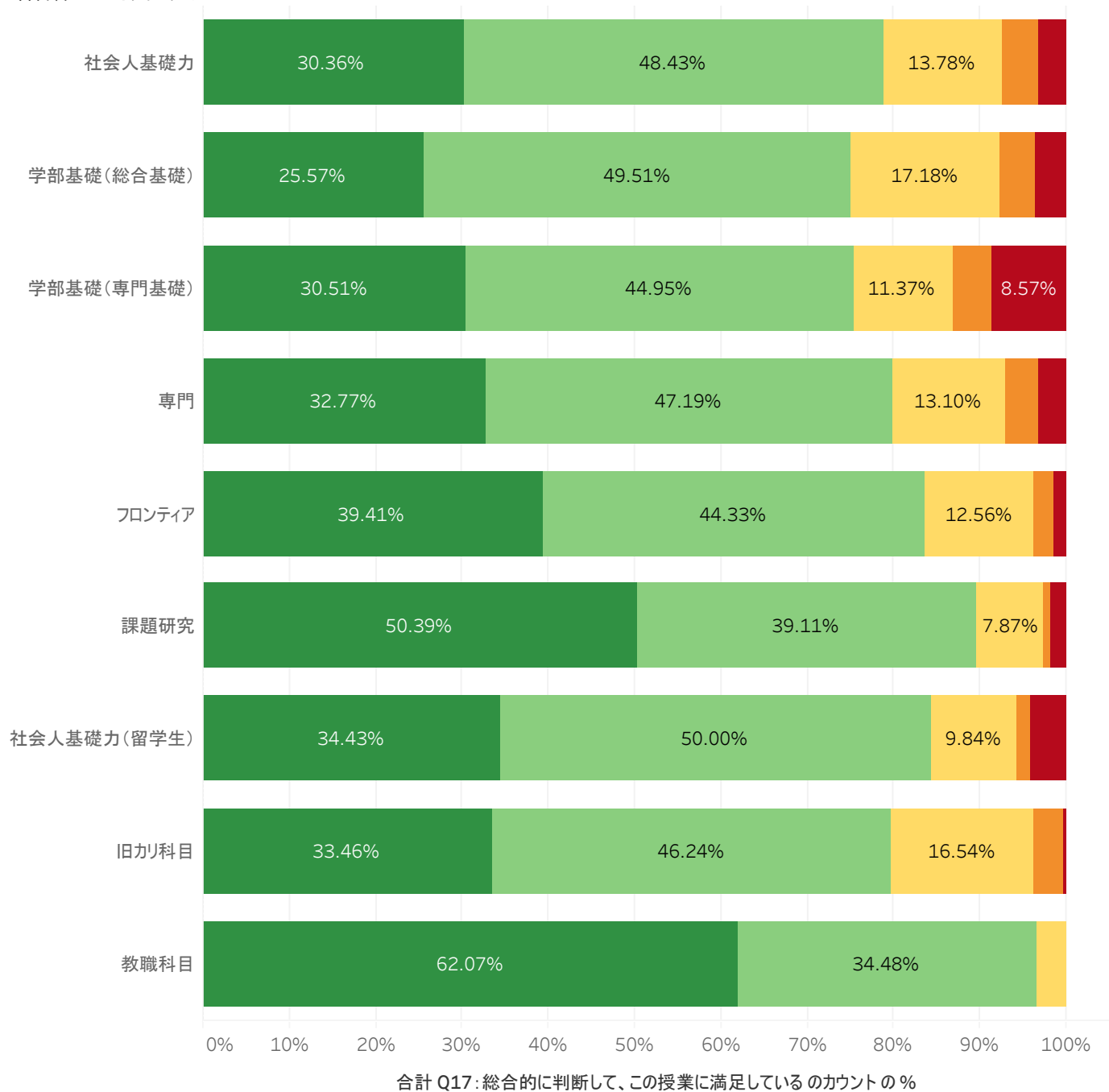


合計 Q10:あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間当たり)は? のカウントの%

- 1. まったくしない
- 2. 30分未満
- 3. 30分～1時間未満
- 4. 1時間～2時間未満
- 5. 2時間～3時間未満
- 6. 3時間以上

科目群別授業満足度(Q17:総合的に判断して、この授業に満足している)

科目群2015カリキュラム

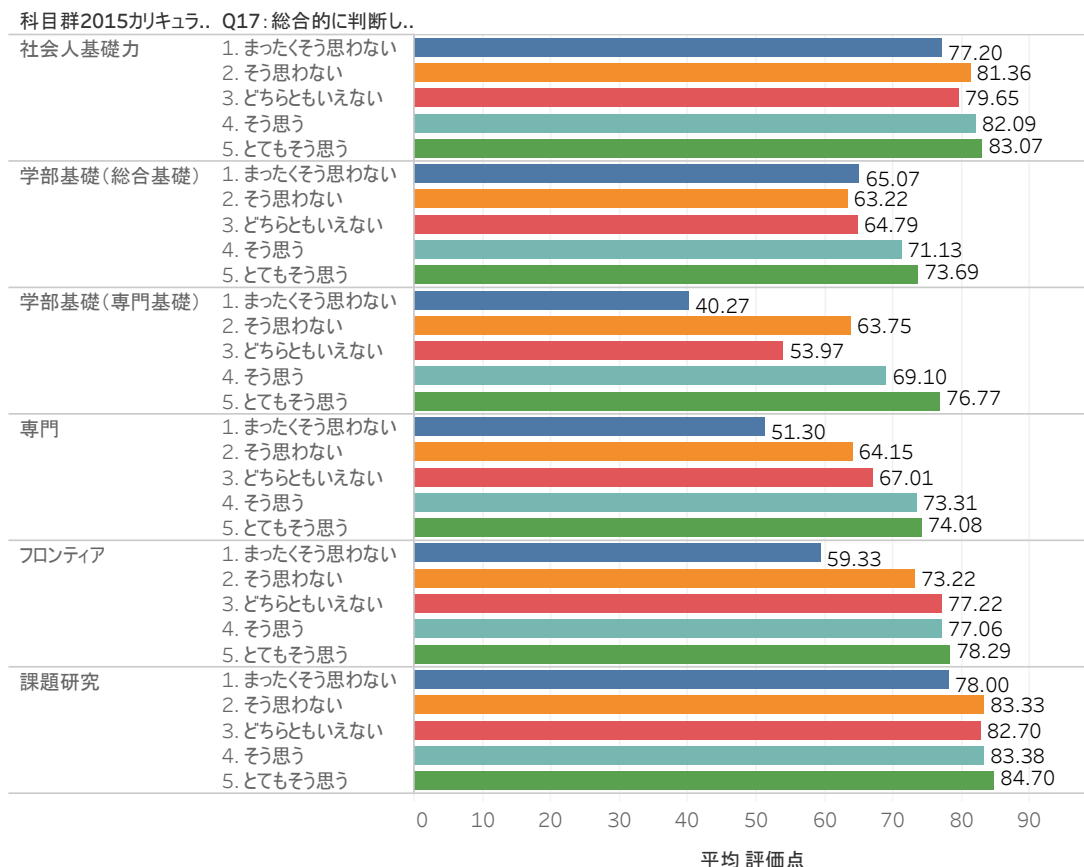


- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらともいえない
- 4. そう思う
- 5. とても思う

科目群別成績と授業満足度

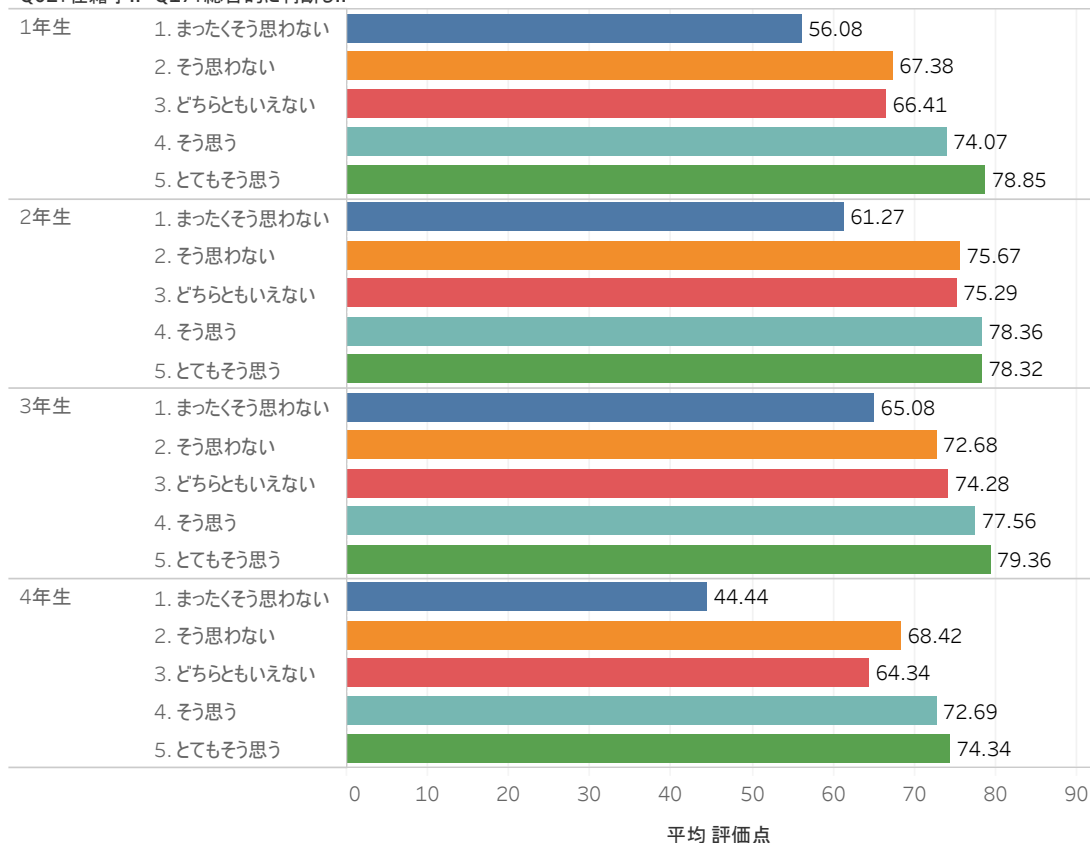
Q17: 総合的に判断して、この..

- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. どちらともいえない
- 4. そう思う
- 5. とてもそう思う



学年別成績と授業満足度

Q02: 在籍学.. Q17: 総合的に判断し..



ディプロマ・ポリシー達成度

設問

Q11:この授業で、
幅広い教養とモラル(倫理)や、
各学科の基礎となる専門的知識・
技能を修得できた

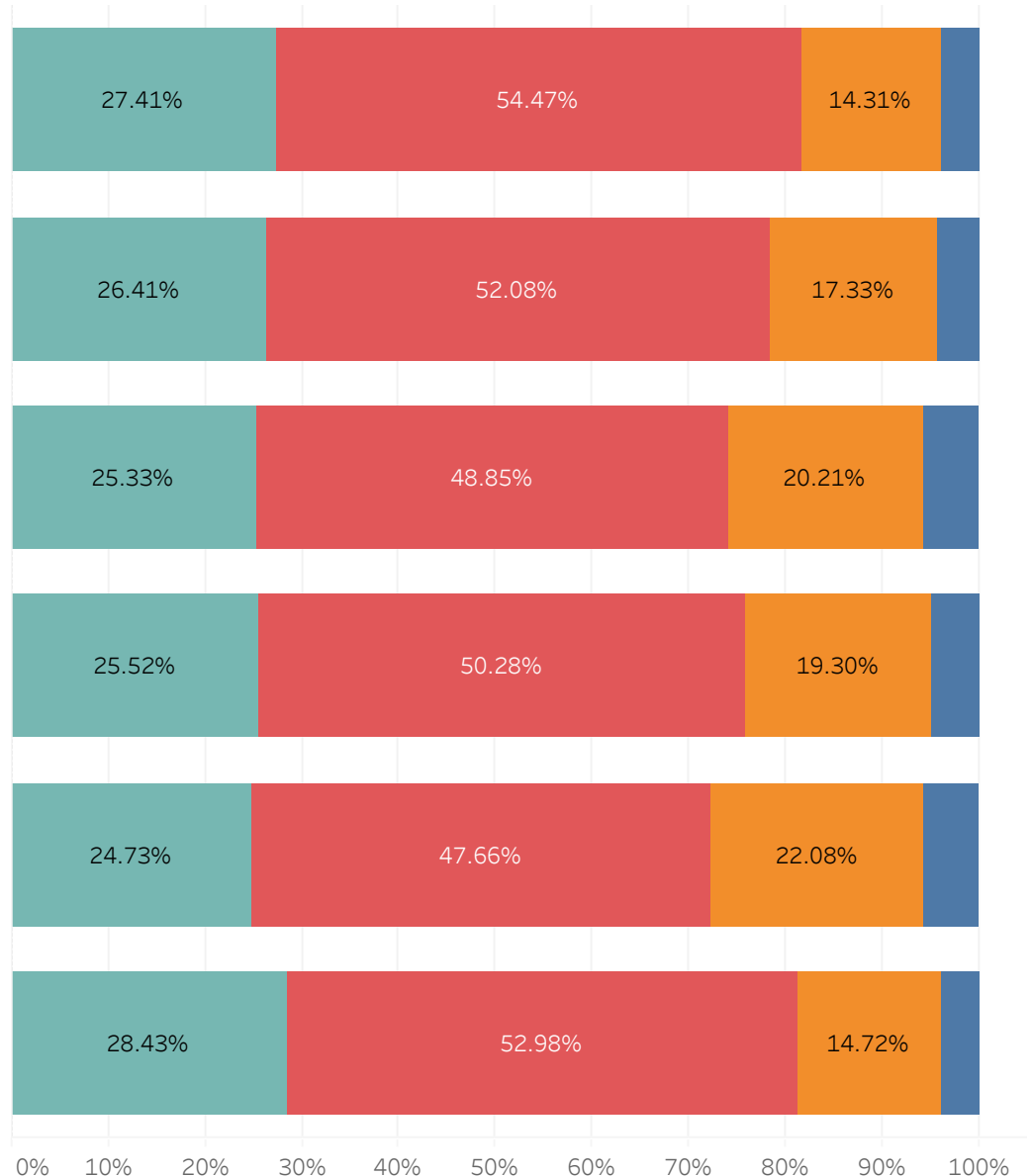
Q12:この授業で、
さまざまな問題を発見、分析し、
論理的に思考して解決できる
力を修得できた

Q13:この授業で、
他者の意見に耳を傾け、
自分の考えを文章にまとめたり、
口頭で発表する力を修得できた

Q14:この授業で、
社会への貢献を志し、良き市民、
将来の良きビジネスパーソンとして
行動する力を修得できた

Q15:この授業で、
主体的に行動し他者と協働する
コラボレーション力を修得できた

Q16:この授業で、専門的知識・
技能を活用する力を修得できた

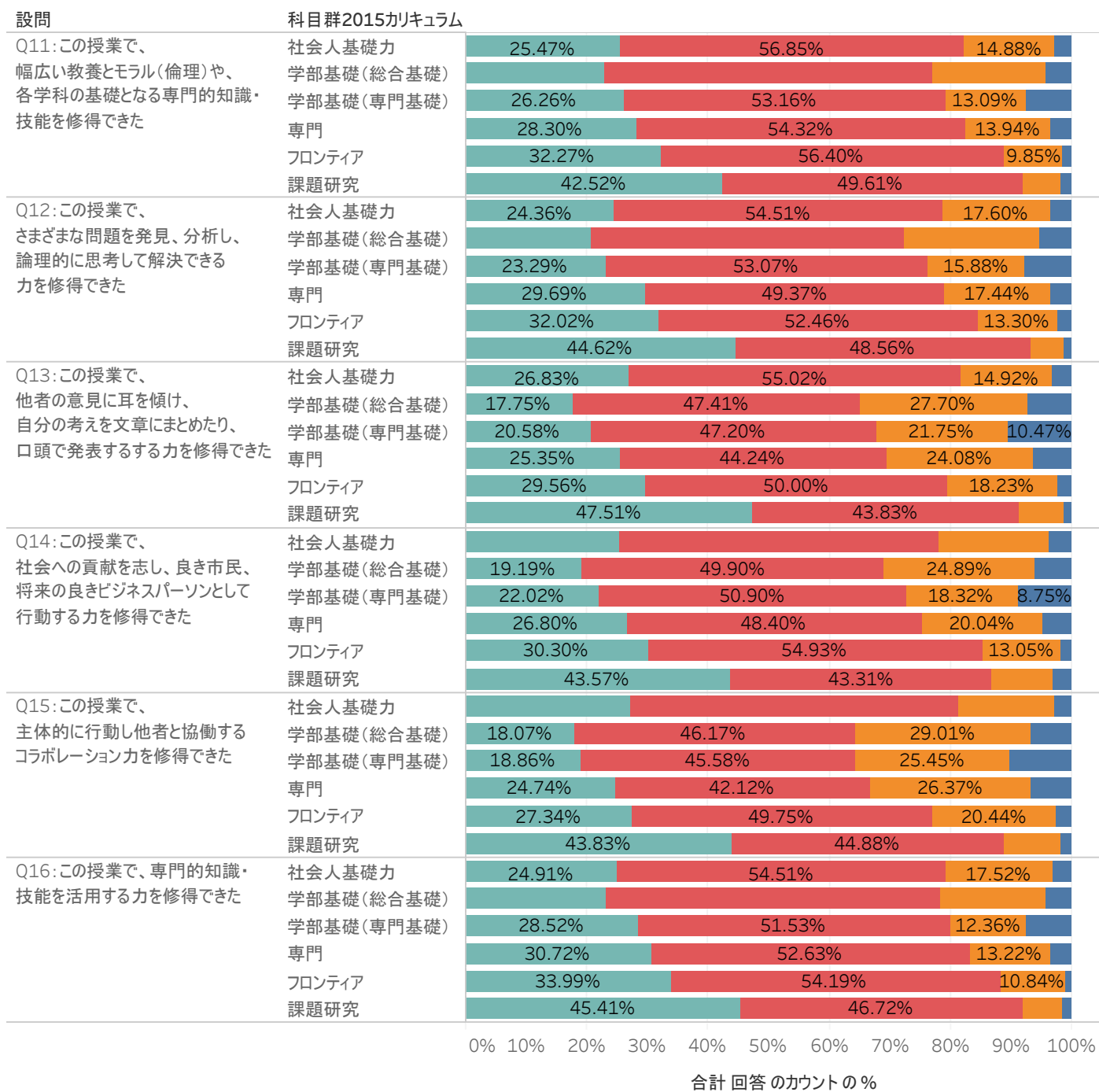


合計 回答 のカウントの %

回答

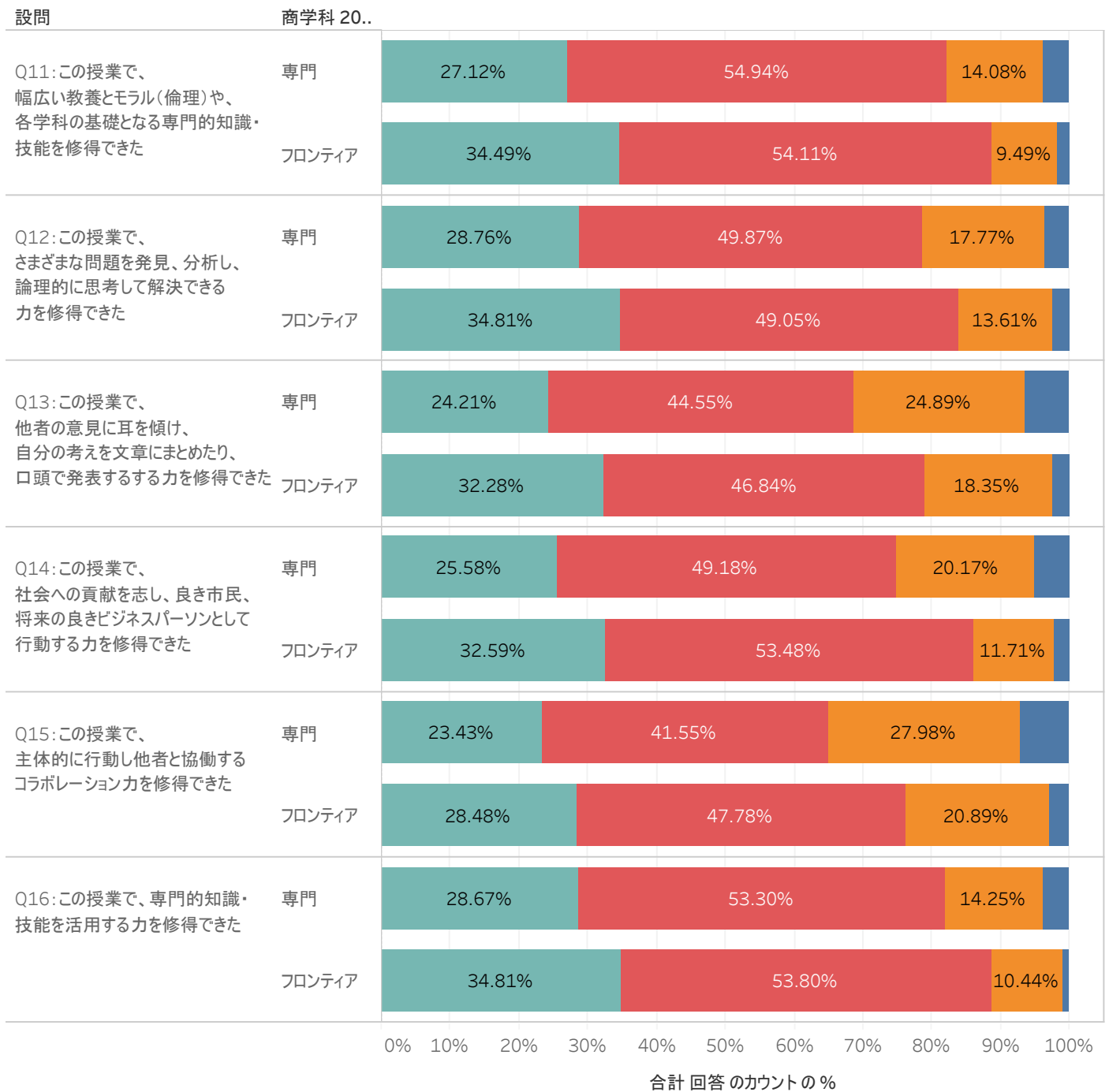
- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

2015カリキュラム科目群別 DP達成度



- 回答
- 1. まったくそう思わない
 - 2. そう思わない
 - 3. そう思う
 - 4. とても思う

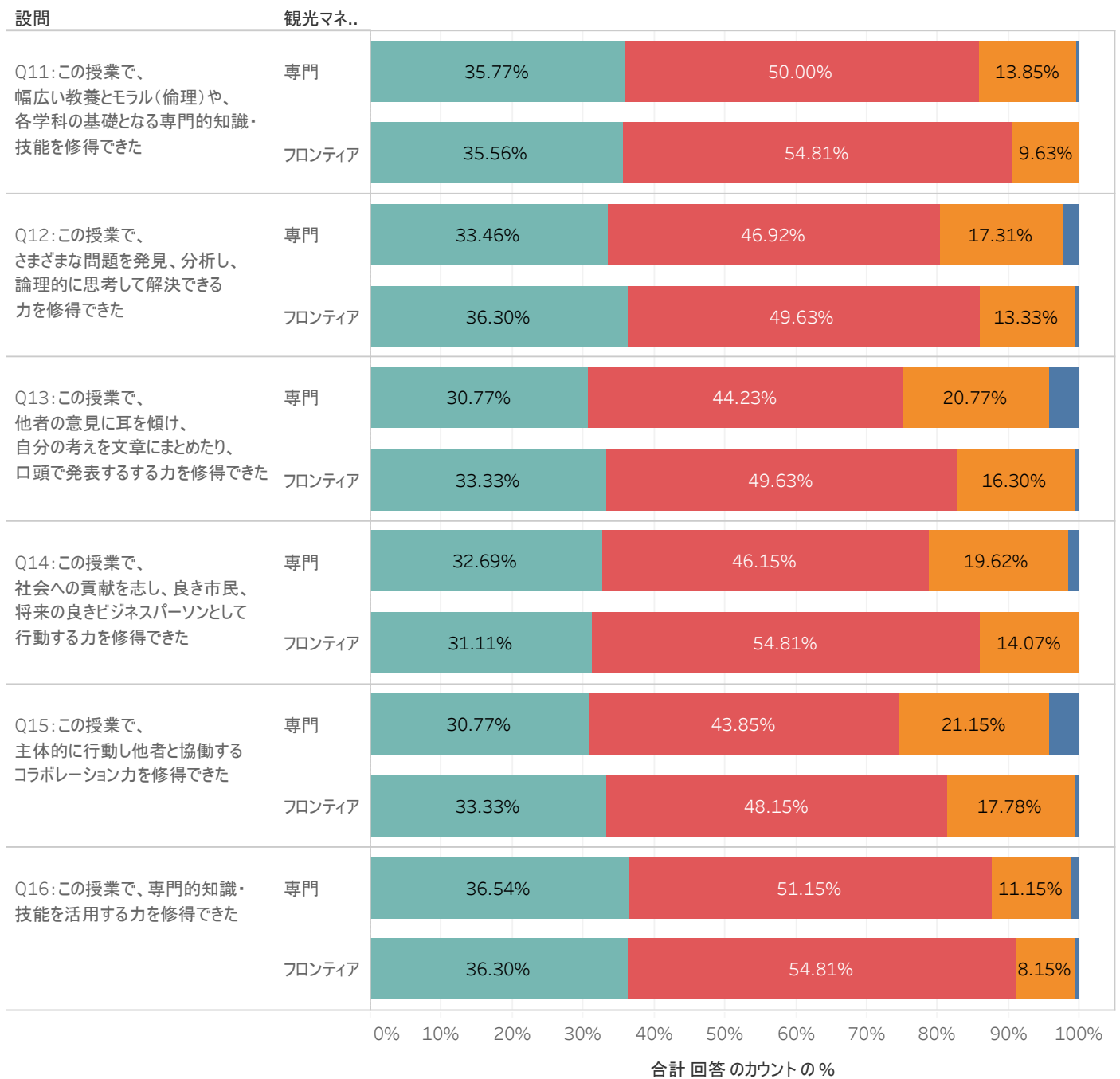
学科別DP達成度:商学科



回答

- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とてもそう思う

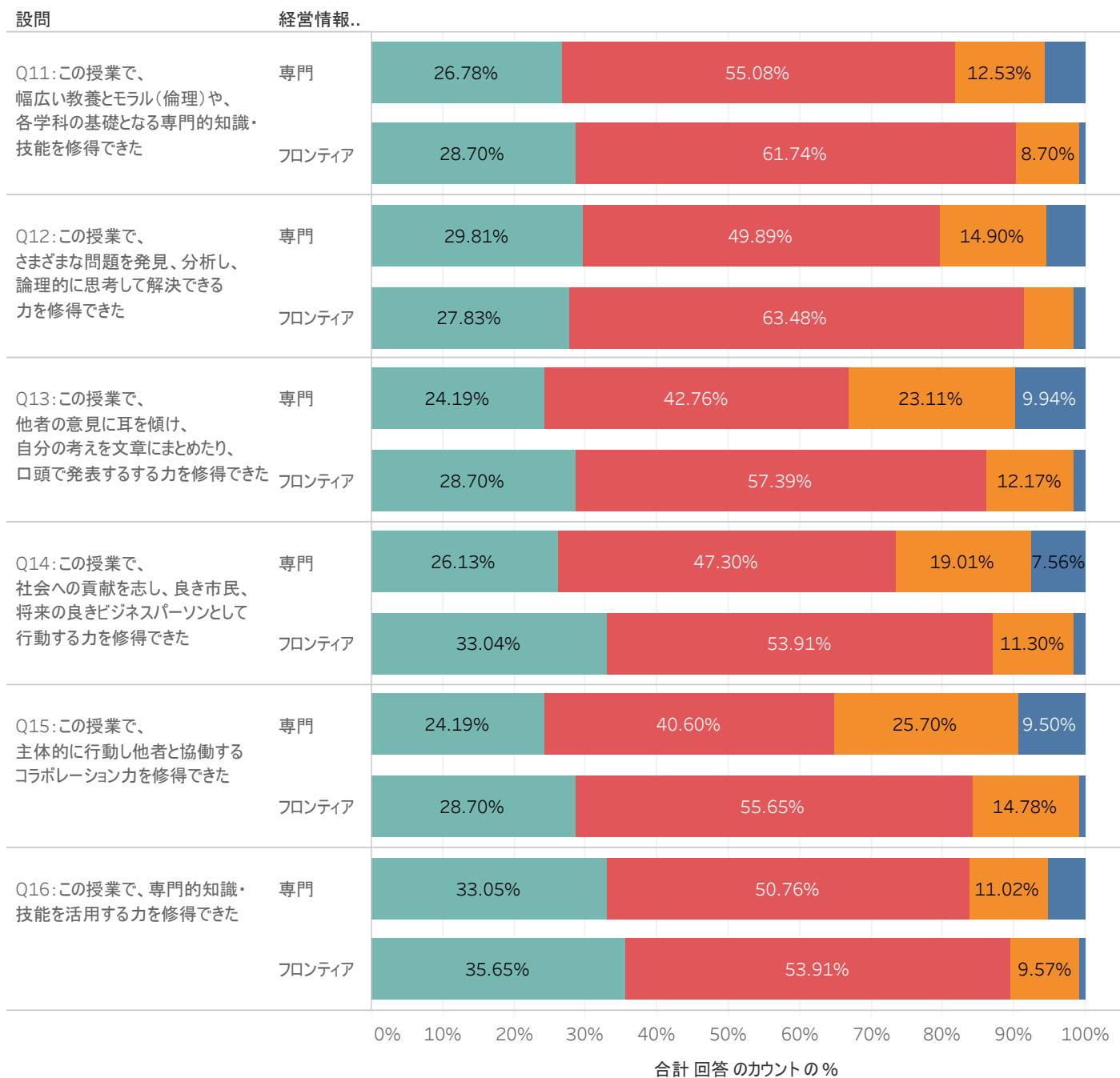
学科別DP達成度:観光マネジメント学科



回答

- 1. まったくそう思わない
- 2. そう思わない
- 3. そう思う
- 4. とても思う

学科別DP達成度:経営情報学科



- 回答
- 1. まったくそう思わない
 - 2. そう思わない
 - 3. そう思う
 - 4. とてもそう思う

■2017（平成 29）年度 横浜商科大学 IR 委員会

小林雅人 学長（委員長・担当理事）

原 邦夫 事務局長

貫洞玲子 管理部長

福田秀雄 学生総合センター事務部長兼学術情報センター事務部長

成田信市 入試・広報センター事務部長

大関充男 キャリアセンター事務部長代理

田尻慎太郎 管理部 IR 室長（商学部観光マネジメント学科准教授）

浮田善文 教授（商学部経営情報学科教授・学生総合センター長）

重政貴博 管理部財務経理課

安部智子 管理部 IR 室

■学生総合センター教務課

福田秀雄 学生総合センター事務部長

橘修 学生総合センター教務課マネージャー

井上富美子 学生総合センター教務課マネージャー

鳴島努 学生総合センター教務課

学 生 に よ る 授 業 評 価
授 業 評 価 ア ン ケ ー ト 報 告 書
－ 2017（平成 29）年度春学期調査－

2017（平成 29）年発行

編 集 横浜商科大学管理部 IR 室

発行所 〒230-8577

神奈川県横浜市鶴見区東寺尾 4-11-1

横浜商科大学 IR 委員会

横浜商科大学学生総合センター

電話 045-571-3901(代)

mail ir-office@shodai.ac.jp

無断で複写・転載することを禁じます。

